

# 三菱一号館美術館

MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO

No. 10

## 2019年度 三菱一号館美術館 年報

ANNUAL REPORT OF MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO

APRIL 2019 - MARCH 2020



# 2019年度 三菱一号館美術館 年報

## 目次

三菱一号館美術館 2019年度 総括 高橋明也 2

Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, 2019-2020 Year in Review, Akiya TAKAHASHI 3

三菱一号館・ミッション・活動方針・沿革 4

The Mitsubishi Ichigokan, Mission, Activities, History 5

### 展覧会概要

ラスキン生誕200年記念 ラファエル前派の軌跡展 6

Parabola of Pre-Raphaelitism: Turner, Ruskin, Rossetti, Burne-Jones and Morris 6

広報活動・教育普及プログラム 9

出品目録 10

マリアノ・フォルチュニー織りなすデザイン展 18

All About Mariano Fortuny 18

広報活動・教育普及プログラム 21

出品目録 22

印象派からその先へ—世界に誇る吉野石膏コレクション展 28

Impressionism and Beyond -Master Paintings from the Yoshino Gypsum collection 28

広報活動・教育普及プログラム 31

出品目録 32

教育普及活動 36

MSS(三菱一号館美術館サポーター制度) 37

### 施設活動報告

Café 1894 展覧会タイアップメニュー ■ カフェ・イベント ■ アフタヌーンティー 38

Store 1894 展覧会オリジナルグッズ 38

歴史資料室 特別展示 38

### 2019年度トピック

三菱一号館美術館が音声コンテンツでスペシャル企画を実施！ 39

交通広告グランプリ・駅デジタルメディア部門最優秀部門賞を受賞 39

歴史資料室で「ARTSCRUM」作品を展示 39

### 東京駅周辺美術館連携

EDO TOKYO NIPPON アートフェス 2019 40

共同講演会・学芸員のあるある第2弾「のぞいてみよう！展覧会ができるまで」 40

### 三菱創業者一族・岩崎家ならびに三菱ゆかりの文化施設

「HOPSTEPJUMPパスポート」 40

2019年度企業会員一覧 41

## 三菱一号館美術館 2019年度 総括

2019年は開館10周年を翌年に控え、これまでの歩みを踏まえつつ継続してきた「ラスキン生誕200年記念 ラファエル前派の軌跡展」のような企画や、「マリアノ・フォルチュニ 織りなすデザイン展」を筆頭とする意欲的な展覧会の開催など、三菱一号館美術館の次の10年にもつながるような要素が詰まった年であった。

企画展構成に向けた海外での調査・研究の機会を、いかに将来の展覧会につなげていくかということも重要な課題であり、どのように三菱一号館美術館としての特色を出してゆくべきかは継続して考えていかなければならない。このような年に、下記の充実した企画展を開催できたことは、大変価値のあることであった。

春に開催した「ラスキン生誕200年記念 ラファエル前派の軌跡展」(2019年3月14日～6月9日)。当館の建築はイギリス人建築家ジョサイア・コンドルの設計であることもあり、その遺伝子を継承し、これまでも「バーン＝ジョーンズ＝装飾と象徴」、「ザ・ビューティフル」、「ジュリア・マーガレット・キャメロン展」と、一連のイギリス近代美術の展覧会を開催してきた。ラファエル前派は日本においては古くから人気が高く、幾度となく展覧会が開催されてきたが、本展ではその精神的指導者であったジョン・ラスキンに焦点を当て、ラファエル前派を新鮮な形で再展望することができる内容となった。同時に、これまで紹介されることが少なかったラスキン自身の手になる纏まった数のデッサンを紹介することで展覧会の焦点を広げ、清新な個性を打ち出すことができた。

続く「マリアノ・フォルチュニ 織りなすデザイン展」(2019年7月6日～10月6日)は、2013年頃からヴェネツィア市のフォルチュニ美術館と協力し、数年をかけてじっくりと作り上げたユニークな展覧会である。このアーティストは、世紀末から20世紀前半における最重要の服飾デザイナーのひとりとして欧米でも知られていたが、大規模な展覧会が開催されるようになったのはごく最近になってのことであった。他方で、彼の仕事の全貌についてはこれまで殆ど周知される機会がなく、その意味で本展は、トータルデザイナーとしてのフォルチュニの仕事の全貌を明らかにする、世界的にも先駆けた内容の展覧会となった。そし

てさらに、19世紀後半から20世紀に至る近代都市としてのヴェネツィアの復活とフォルチュニの活動を重ね合わせ、多角的な視点を持つ重層的な展覧会としたことも意義深い。結果として当館らしい個性的な内容で、コアな美術ファンから好評を得たことには満足しているが、集客に苦戦したことは今後に向けた課題となった。

最後に、今年度の締めくくりとなった「印象派からその先へー世界に誇る吉野石膏コレクション展」(2019年10月30日～2020年1月20日)には、幅広く多くの方が訪れ、楽しんでいただくことができた。当館も開館記念展「マネとモダン・パリ」以来、何度となくこのコレクションから貴重な作品をお借りしていたが、本展はその蒐集作品の全体像を眼にする初めての機会となった。ここには1980～90年代にかけて蒐集された、きわめて良質なヨーロッパ近代絵画の作品群が収蔵されている。どちらかと言えば、強烈な個性のある作品というよりは良質で親しみやすい、近代美術のエッセンスが溢れる作品が多いが、そうした中にも、蒐集家の趣味を垣間見せるような強い表現力のある作品が散見されたのは、非常に興味深かった。

2019年度は企画展構成に向けた、館員の海外における研究やリサーチの機会が減少するなかで、将来に向けてどのように三菱一号館美術館としての特色を出してゆくべきかを苦慮することも多かった。しかしながら、「マリアノ・フォルチュニ展」のような自主的・先駆的性格の強い企画では、当館の個性を打ち出すことができ、海外からも注目されるレベルの展覧会にすることができた。親しみやすい環境と内容を整えなければいけない一方、他の美術館との差別化や当館ならではの独自の性格付けを行う試みは継続していくべきと思われ、その点でも考えさせられる一年となった。

末筆ながら、当館は2020年4月6日に開館10周年を迎える運びとなった。これまで多くの方々を足をお運びいただき、ご協力いただいたことに改めて心よりお礼申し上げます。

三菱一号館美術館館長  
高橋 明也

## 2019-2020 Year in Review

The year was a critical milestone for the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo. As the year before the tenth anniversary of our opening, it was packed with elements connected to our next decade, with exhibitions that continue the path we have followed thus far, such as *Parabola of Pre-Raphaelitism: Turner, Ruskin, Rossetti, Burne-Jones and Morris*, and ambitious new ventures, notably our *All About Mariano Fortuny* exhibition.

How to connect opportunities for overseas research towards organizing special exhibitions to our future exhibitions has become a major issue as we continue to consider how the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, can display its distinctive character. That we were able to hold the significant exhibitions described below was an extraordinarily meaningful achievement.

Our spring exhibition, *Parabola of Pre-Raphaelitism: Turner, Ruskin, Rossetti, Burne-Jones and Morris*, commemorating the bicentennial of John Ruskin's birth, was held from March 14 to June 9, 2019. Since the British architect Josiah Conder designed our building, staying true to our DNA, we had already held a series of exhibitions on modern British art: *Edward Burne-Jones, Art for Art's Sake. The Aesthetic Movement 1860-1900*, and *Julia Margaret Cameron: a woman who breathed life into photographs*. The Pre-Raphaelites have long been popular in Japan, and many exhibitions of their work have been held. This exhibition, however, focused on John Ruskin, the movement's intellectual mentor, providing a new view of the Pre-Raphaelites in an innovative configuration. Introducing a rarely shown sketches by Ruskin himself broadened the scope of the exhibition and gave it fresh originality.

Our summer exhibition, *All About Mariano Fortuny* (July 6 to October 6, 2019), was a unique project created through years of intense work, starting in 2013, in cooperation with the Fondazione Musei Civici di Venezia—Museo Fortuny. Fortuny is known in Europe and America as one of the most significant fashion designers of the late nineteenth and early twentieth century. Only recently, however, have major exhibitions of his work been held. This pioneering exhibition presented a comprehensive view of Fortuny's work, going beyond fashion to explore his little known but wide-ranging creative activities in design and painting. Furthermore, Fortuny was active during Venice's fin de siècle rebirth as a modern city.

Presenting its revival, combined with Fortuny's work, made this multilayered exhibition, with its many points of view, profoundly significant. Its distinctive content, so characteristic of our material, was well received by our museum's core fans, but attracting visitors proved difficult. That is an issue we must continue to address.

*Impressionism and Beyond—Master Paintings from the Yoshino Gypsum Collection*, the third and final exhibition held this year (October 30, 2019, to January 20, 2020) attracted and was enjoyed by a wide range of visitors in large numbers. Our museum has borrowed precious works from this collection again and again, starting with our opening exhibition, *Manet and Modern Paris*. This year's exhibition, however, was the first opportunity to present the collection as a whole. A group of modern European paintings of extremely high quality acquired in the 1980s and 1990s, as a collection, it includes many works that brim with the essence of modern art, fine, readily approachable rather than intensely individual works. It does incorporate, however, powerful paintings that give a fascinating glimpse of the collector's tastes.

In this fiscal year, our staff members' opportunities for research overseas have been reduced as we organized these special exhibitions. In that context, we have been struggling to define the distinctive qualities that the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, should develop in the future. Special exhibitions with a strongly trailblazing nature, such as our *All About Mariano Fortuny*, are, however, projects that both express our museum's individuality and are at a level that attracts attention from overseas as well. We need to provide an approachable environment and exhibition content while differentiating ours from other museums and developing our distinctive character. This year, believing that we must continue our experiments, we have pondered those points.

On April 6, our museum celebrated its first decade in operation. I wish to express once again our profound gratitude to all those who have visited our museum or who have cooperated with our activities.

Akiya TAKAHASHI

Director, Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

## 三菱一号館

「三菱一号館」は、1894(明治27)年、開国間もない日本政府が招聘した英国人建築家ジョサイア・コンドルによって設計され、三菱が東京・丸の内に建設した初めての洋風事務所建築です。全館に19世紀後半の英国で流行したクイーン・アン様式が用いられています。当時は館内に三菱合資会社の銀行部が入っていたほか、階段でつながった三階建ての棟割の物件が事務所として貸し出されていました。この建物は老朽化のために1968(昭和43)年に解体されましたが、40年あまりの時を経て、コンドルの原設計に則って同じ地によみがえりました。

今回の復元に際しては、明治期の設計図や解体時の実測図の精査に加え、各種文献、写真、保存部材などに関する詳細な調査が実施されました。また、階段部の手すりの石材など、保存されていた部材を一部建物内部に再利用したほか、意匠や部材だけではなく、その製造方法や建築技術まで忠実に再現するなど、さまざまな実験的取り組みが行われています。

19世紀末に日本の近代化を象徴した三菱一号館は、2010(平成22)年春、東京・丸の内のアイコン、三菱一号館美術館として生まれ変わりました。

## ミッション

- ・街に開かれた美術館として、そこで働く人々、訪れる人々の利便性を重視し、「都市生活の中心としての美術館」という視点で運営を行います。
- ・国内外の美術館や周辺の文化施設との連携・ネットワークを築きながら、長期的・国際的な視野での美術館活動を目指します。
- ・明治期に原設計された建物と収蔵作品の特性に配慮し、近代市民社会、産業社会の原点ともいえるべき19世紀の近代美術を中心とした展覧会を開催します。
- ・変貌する現代の美と歴史的の系譜との結節点を求めて、学術的意義の深い展覧会を、新たな切り口で展開していきます。

## 活動方針

- ・展覧会の開催(年3回)
- ・美術作品の収集、保存、公開、調査・研究
- ・教育普及活動の実施\*
- ・展覧会に関連したイベントの実施
- ・近隣の美術館、社会教育機関との連携

\*教育普及活動の理念・特色については36ページ参照

## 沿革

- 2006年 6月 1日 三菱地所(株)が丸の内において「三菱一号館」を復元し、美術館として活用することを発表  
10月 高橋明也が「三菱一号館美術館」館長として就任
- 2007年 2月 1日 三菱地所(株)が「三菱一号館美術館」計画概要を発表  
2月 5日 「三菱一号館」着工  
4月 1日 三菱地所(株)街ブランド企画部内に「美術館開設準備室」を新設
- 2008年 6月11日 「三菱一号館美術館」のロゴマークが決定
- 2009年 4月 8日 フランス南西部アルピ市「トゥールーズ=ロートレック美術館」と姉妹館提携  
4月30日 「三菱一号館」復元竣工  
7月 1日 三菱地所(株)が「三菱一号館美術館」運営計画を発表  
9月 3日 「三菱一号館」において竣工記念展「一丁倫敦と丸の内スタイル」を開催(2010年1月11日まで)
- 2010年 4月 1日 三菱地所(株)内に「美術館室」を新設  
4月 6日 「三菱一号館美術館」開館。「マネとモダンパリ」を開催(7月25日まで)
- 2011年11月 西洋美術振興財団賞「文化振興賞」受賞
- 2013年 5月31日 「KATAGAMI Style」展が第1回ジャポニスム学会展覧会賞を受賞
- 2016年 5月 9日 「画鬼・晁斎-幕末明治のスター絵師と弟子コンドル」展が第4回ジャポニスム学会展覧会賞を受賞

## The Mitsubishi Ichigokan

The Mitsubishi Ichigokan was designed in 1894 by the English architect Josiah Conder at the invitation of the Japanese government not long after the country had ended a long period of national seclusion. The structure, erected by Mitsubishi as the first Western-style office building in Tokyo's Marunouchi district, makes use of the Queen Anne style of architecture that was popular in England in the late 19th century. In addition to housing the banking department of Mitsubishi's headquarters, the three-story building, linked by stairs, was rented out for use as office space. Having aged significantly, the original structure was torn down in 1968, and now, some 40 years later, it has been reconstructed on the same lot according to Conder's original plans. As part of the restoration project, along with a review of the Meiji-era blueprints and survey maps dating from the buildings dismantling, extensive surveys of various documents, photographs, and extant structural components were conducted. In addition to reusing some of the buildings interior components, such as the handrails for the staircases, the structure was reproduced as faithfully as possible down to the use of specific building methods and architectural techniques. The Mitsubishi Ichigokan, symbolizing the modernization of Japan in the late 19th century, has been reborn as the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, an icon of Tokyo's Marunouchi district, in 2010.

## Mission

- As a museum located in the heart of Tokyo, we place a special value on the accessibility for both workers and visitors, and pledge therefore to serve as a museum at the center of urban life.
- While building networks with numerous museums around the world and other cultural facilities in the surrounding area, we develop our activities on a longterm basis in an international setting.
- By paying close attention to the classical features of the building and our collection of works, we seek to present exhibitions which focus on the 19th century modern art signifying the sources of modern society.
- By searching for links between the dynamic contemporary beauty and the inherited historical beauty, we provide new perspectives on art to the wide range of people.

## Activities

- Thematic exhibitions (3 per year)
- Collection, preservation, display, surveying and study of works of art
- Education programs\*
- Events related to exhibitions
- Ties with local museums, community centers, and educational institutions

\*Refer p.36 for Philosophy and Distinctive Features of Education Programs.

## History of the Mitsubishi Ichigokan Museum

June 1, 2006	Mitsubishi Estate Co., Ltd. announces it will rebuild the MitsubishiIchigokan in the Marunouchi district for use as an art museum.
October 2006	Akiya Takahashi is appointed director of the Museum.
February 1, 2007	Mitsubishi Estate outlines its plans for the Museum.
February 5, 2007	Work starts on the Mitsubishi Ichigokan building.
April 1, 2007	Mitsubishi Estate establishes a Museum Pre-Opening Office in the Area Brand Management Department.
June 11, 2008	Mitsubishi Estate announces the Museum logo.
April 8, 2009	A sister museum agreement is signed with the Toulouse-Lautrec Museum in Albi, southwestern France.
April 30, 2009	The reconstruction of Mitsubishi Ichigokan is completed.
July 1, 2009	Mitsubishi Estate announces its management plan for the Museum.
September 3, 2009	The exhibition " <i>Ichō London and the Marunouchi Style</i> " is held in the building to commemorate its completion (until January 11, 2010).
April 1, 2010	Mitsubishi Estate establishes a Museum Management Office.
April 6, 2010	The Mitsubishi Ichigokan Museum officially opens. The inaugural exhibition " <i>Manet and Modern Paris</i> " is held until July 25.
November 2011	The Museum receives the Culture Promotion Award of the Western Art Foundation.
2013 May 31	The " <i>KATAGAMI Style</i> " received the Award of the Society for the Study of Japonisme for its contribution to cultural exchange among Japonisme, Japan and foreign countries.
2016 May 9	" <i>KYOSAI-Master Painter and his student Josiah Conder</i> " received the fourth Award of the Society for the Study of Japonisme for its contribution to cultural exchange among Japonisme, Japan and foreign countries.

本展は、英国の美術批評家ジョン・ラスキン（1819–1901）の生誕200周年を記念して企画された。全体の構成は「I. ラスキンとターナー」「II. ラファエル前派」「III. ラファエル前派周縁」「IV. バーン＝ジョーンズ」「V. ウィリアム・モリスと装飾芸術」の五章からなる。監修者クリストファー・ニューオル氏とスティーヴン・ワイルドマン氏の尽力により、油彩画や水彩画、素描、家具、タペストリなど、本邦初公開作品を含む多彩な150点あまりが一堂に会した。

幼少時からJ. M. W. ターナーの風景画を愛好したラスキンは、この大画家が新たな作風で物議を醸したとき、その試みの本質を的確に説明して、美術批評家としての地位を確立する。『現代画家論 (Modern Painters)』（1843–69）の第一巻末尾では、「自然の意味するものを徹底的に汲み取ることに専念し、なにものも退けず、なにものも選ばず、なにものも軽んじないように」と自然観察の重要性を説いている。

この思想の影響下で1848年に結成されたのが、前衛芸術家集団「ラファエル前派同盟 (Pre-Raphaelite Brotherhood)」である。二十歳前後のジョン・エヴァレット・ミレイ、ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ、ホルマン・ハントらは、当時の規範を排して、「絵画が自然に忠実」であった時代の表現——ラファエロの追隨者が登場する前の素朴で率直な表現——に立ち戻ろうとした。かれらが激しく糾弾されたとき、全力で弁護にあたったのは、まだ面識のないラスキンであった。

しかし、1850年代にはミレイが保守派に取り込まれて同盟は消滅。独自の表現を模索するロセッティのまわりに追隨者が集うようになる。そのなかには、ラスキンに共鳴して芸術の道へと進んだエドワード・バーン＝ジョーンズとウィリアム・モリスがいた。ラスキンは、メンターとしてバーン＝ジョーンズの制作活動を力強く支えた。芸術観の違いから袂を分かたすが、画家が唯美主義につながる独自の様式を実現しえた背景には、この初期に受け

## 「ラスキン生誕200年記念 ラファエル前派の軌跡」展

### Parabola of Pre-Raphaelitism: Turner, Ruskin, Rossetti, Burne-Jones and Morris

This exhibition was planned to commemorate the bicentennial of the birth of the British art critic John Ruskin (1819-1901). It consisted of five parts: I. Ruskin and Turner, II. The Pre-Raphaelites, III. The Pre-Raphaelite Friends and Associates, IV. Burne-Jones, and V. William Morris and The Decorative Arts. Thanks to the unremitting efforts of its supervisors, Christopher Newall and Stephen Wildman, the exhibition presented a diverse group of over 150 works, some never exhibited in Japan before, including oil paintings, water colors, sketches, furniture, and tapestries.

Ruskin had loved J. M. W. Turner's landscapes from early childhood. When that great artist's new style was arousing great controversy, Ruskin explained the essence of those efforts with great precision, thereby establishing his own position as an art critic. At the end of the first volume of his *Modern Painters* (1843-69), Ruskin wrote, stressing the importance of observing nature:

...having no other thoughts but how best to penetrate her meaning, and remember her instruction, rejecting nothing, selecting nothing, and scorning nothing.

The Pre-Raphaelite Brotherhood was an avant-garde artists' group that formed in 1848 under the influence of Ruskin's thinking. These young artists, all about twenty years of age, included John Everett Millais, Dante Gabriel Rossetti, and William Holman Hunt. Rejecting the norms of their day, they attempted to return to the style of an age in which "Paintings are true to nature," the naive, direct style in practice before the rise of Raphael's followers. They were ferociously censured, but one man, whom they had yet to meet, defended them with all his strength: Ruskin.

In the 1850s, however, Millais became absorbed by the conservative, academic school of painting, and the brotherhood disbanded. Rossetti, who was seeing his own distinct style, attracted a number of followers. They included Edward Burne-Jones, who proceed on a path in the arts in accord with Ruskin's views, and William Morris. As a mentor, Ruskin vigorously supported Burne-Jones's creative activities. While they later split over differences in their views of the arts, it was Ruskin's early support that enabled Burne-Jones to achieve his own distinctive style, one linked to Aestheticism. It was William Morris who deeply understood the argument Ruskin made in *The Stones of*

た支援があった。その一方で、産業革命以降の英国社会が抱える矛盾を批判した『ヴェネツィアの石造建築 (The Stones of Venice)』(1851-53)の主張を深く理解し、発展させたのは、モリスにはかならない。中世を理想として社会の再生を唱えたラスキンの教えに対して、モリスは手工芸の復興を通じて解決策を探った。その試みが「アーツ・アンド・クラフツ運動」となり、各国に浸透した。

開館9周年の特別企画「リアル謎解きゲーム」の人気もあり、開幕序盤は好調に滑り出した。動員数が落ち着いたころ、話題展の開幕が相つしたが、丁寧な広報活動によって、新聞五大紙への展覧会評掲載や主要TV美術番組の特集が実現され、最終的には目標を大幅に上回る105,520人の来館者が得られた。教育普及の充実も来館者の満足度向上につながった。コンドル設計による「三菱一号館」との親和性が高い19世紀英国美術を愛好する層が着実に広がってきたことも、好成績の一助となったと考えられる。

会 期：2019年3月14日(木)～2019年6月9日(日) [81日間]

開館時間：10時～18時(祝日を除く金曜、第2水曜と会期最終週平日は21時まで)  
※入館は閉館の30分前まで

休 館 日：月曜(祝日を除く金曜日、第二水曜日、6月3日～6月7日は21時まで  
6月3日とトークフリーデー(3月25日、5月27日)は開館

主 催：三菱一号館美術館

共 催：日本経済新聞社

後 援：ブリティッシュ・カウンシル

協 賛：大日本印刷

企画協力：一般社団法人インディペンデント、株式会社アルティス

巡 回 先：久留米市美術館(6月20日～9月8日)、あべのハルカス美術館(10月5日～12月15日)

入場者数：105,520人

*Venice* (1851-53), in which he criticized the contradictions British society had harbored since the Industrial Revolution. In response to Ruskin's calling for a rebirth of society with the medieval world as his ideal, Morris sought solutions through a revival of the handicrafts. His experiments grew into the Arts and Crafts Movement, which spread to many other countries.

The *Real Puzzle-Solving Game* special program for the museum's ninth year was also popular, and the opening of this exhibition went smoothly. At a time when the number of visitors had been dropping and a series of attention-getting exhibits were opening, thanks to our careful public relations activities, we were able to have reviews of the exhibition in all five nationwide newspapers and specials about it on major arts-related television programs. We ultimately attracted 105,520 visitors, far surpassing our objective. Our well developed educational and outreach programs were also related to a rise in visitor satisfaction. The steady growth of the segment of people who like nineteenth-century British art, which harmonizes well with the Mitsubishi Ichigokan building as Conder designed it, may also have contributed to this exhibition's strong performance.







展示風景 1



展示風景 2



展示風景 3



展示風景 4



展示風景 5



記念講演会「ラファエル前派の衝撃ーロンドンから東京へ」



こどもの創造性を高める「ワークショップ&ギャラリーアクティビティ」



広報イベント「英国ロックにみるカウンターカルチャーの系譜」

## 広報活動

### 媒体掲載件数

掲載件数：310件  
T V：3件  
ラジオ：1件  
新聞：132件  
雑誌：133件  
WEB：41件

### 主要掲載

- **T V:**  
NHK Eテレ 「日曜美術館」アートシーン 4月21日O.A.  
BS日テレ 「ぶらぶら美術・博物館」 5月7日O.A.
- **新聞:**  
産経新聞 3月24日朝刊 文化面 アート 美  
朝日新聞 4月2日夕刊 「美の履歴書」  
日経新聞 4月10日朝刊 文化面  
毎日新聞 5月8日夕刊 文化面「目は語る」  
読売新聞 5月23日夕刊 文化面
- **雑誌:**  
『日経おとなのOFF』 4月号 4ページ  
『美術展完全ガイド2019』 1号 4ページ  
『時空旅人 大人が観たい美術展』 3号 6ページ

### 広報イベント

- 英国ロックにみるカウンターカルチャーの系譜  
日時：2019年3月30日  
会場：日本工業倶楽部  
出演：三船雅也 (ROTH BART BARON)、岡田拓郎 (ex. 森は生きてい  
る)、柴崎祐二 (音楽ディレクター/ライター)、野口玲一 (三菱  
一号館美術館 学芸員)  
参加者：80名
- 紳士淑女のブリティッシュ・ナイト  
日時：2019年4月6日 18:00~22:00  
会場：展示室、Café1894内  
参加者：100名 (内、Café利用70名)
- (株)コーセー × Oggi × 三菱一号館美術館「Beauty Art Night」  
日時：2019年4月23日 18:30~21:00  
会場：Café1894、展示室内  
講師：AYA (ヘアメイクアップアーティスト)、石神森 (三菱一号館美術館  
教育普及担当)  
参加者：40名
- 三菱一号館美術館「ラファエル前派の軌跡展」×ほぼ日の学校  
手仕事の大切さ 200年前を振り返る  
日時：2019年4月18日 14:30~15:30  
会場：marunouchi cafe × WIRED CAFE  
講師：河野通和 (ほぼ日の学校長)、高橋明也 (三菱一号館美術館館長)  
参加者：40名
- ラスキ生誕200年記念トークイベント  
山崎亮さんが紐解く「生活が大きく変化する時代に共通すること」  
日時：2019年5月7日 15:00~16:00  
会場：コンファレンススクエアエムプラス「サクセス」  
講師：山崎亮 (studio-L代表、コミュニティデザイナー、社会福祉士)  
参加者：68名

## 教育普及プログラム

- 記念講演会「ラファエル前派の衝撃——ロンドンから東京へ」  
日時：2019年3月15日 14:00~15:30  
会場：コンファレンススクエアエムプラス「サクセス」  
講演：河村錠一郎氏 (一橋大学名誉教授・言語社会研究科)  
参加者：122名
- 展覧会を語る「ラファエル前派の軌跡展」  
日時：2019年4月25日 14:00~15:30  
会場：コンファレンススクエアエムプラス「サクセス」  
講師：加藤明子 (本展担当学芸員)  
参加者：96名
- 朝のギャラリートーク  
日時：2019年3月20日、4月11日 各10:30~11:15  
会場：三菱一号館美術館展示室  
講師：石神森、前田麻奈実 (教育普及担当)  
参加者：27名 (2回計)
- 夕方のギャラリートーク  
日時：2019年3月19日、4月10日 各16:00~16:45  
会場：三菱一号館美術館展示室  
講師：石神森、前田麻奈実 (教育普及担当)  
参加者：22名 (2回計)
- 夜のギャラリートーク  
日時：2019年3月29日、4月5日 各18:30~19:15  
会場：三菱一号館美術館展示室  
講師：石神森、前田麻奈実 (教育普及担当)  
参加者：26名 (2回計)
- ギャラリートーク(トークフリーデー)AI(Art&Inquiry) トーク  
日時：2019年3月25日、5月27日 各14:00~15:00  
会場：三菱一号館美術館  
講師：石神森、前田麻奈実 (教育普及担当)  
参加者：13名 (2回計)
- こどもの創造性を高める  
「ワークショップ&ギャラリアクティビティ」  
日時：2019年5月26日(日) 9:30~11:30 (2時間程度)  
会場：三菱一号館美術館内2階会場  
講師：石神森、前田麻奈実 (教育普及担当)  
参加者：2名
- エリア就業者&ファンのためのMarunouchi Office workers and  
Fan's NIGHT [MOF NIGHT]  
日時：①トークイベント「アートのナビゲーション力、企業  
の牽引力」18:30~19:30 ②18:00以降の入館料が  
1,000円に！(1,700円⇒700円割引) 18:00~21:00(最  
終入館20:30) ③音楽イベント「夜ふかし一号館」20:  
30~22:30 (L.O.22:00)  
会場：三菱一号館美術館 Café1894  
講師：①塩見有子氏 (アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]  
ディレクター)、③DJ Leo Gabriel氏  
参加者：①40名、②42名、③74名 (大丸有エリア就業者対象)
- 館(やかた)ツアー  
日時：2019年3月19日、4月16日、5月21日  
会場：三菱一号館美術館  
参加者：39名 (2回計)

※上記は全て三菱一号館美術館主催  
※上記肩書は全て開催当時

# ラファエル前派の軌跡

## PARABOLA OF PRE-RAPHAELITISM

TURNER RUSKIN ROSSETTI BURNE-JONES & MORRIS

2019年3月14日—6月9日

主催：三菱一号館美術館

後援：プリティッシュ・カウンシル

共催：産経新聞社

企画協力：株式会社アルティス／一般社団法人インディペンデント

14 March – 9 June, 2019

Organized by: Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

Patronized by: British Council

Co-organized by: The Sankei Shimbun

Planning assisted by: Artis Inc. / Independent G.I.A.



MITSUBISHI  
ICHIGOKAN  
MUSEUM,  
TOKYO

### 出品目録 List of Works

- 展示室の温度・湿度・照度は、作品保護に関する国際基準、および所蔵者の貸出条件によって調整されています。
- 番号は図録のキャプション番号に準じており、陳列の順序とは一致しない場合がございますのでご了承ください。
- 巡回展のため、以下の作品は東京会場には出品されません(作品番号24, 39, 64, 75, 100, 111, 133, 148-152)。
- 会場内での写真撮影、模写、鉛筆以外の筆記用具のご使用はご遠慮ください。
- Temperature, humidity and illuminant level are in accordance with the international standard and with the conditions required by the owners of art works.
- The numbers given to the works correspond to those of the catalogue, not to the order of the show.
- The following works are not exhibited in Tokyo, but in Fukuoka or Osaka: cat. no. 24, 39, 64, 75, 100, 111, 133, 148-152.
- The following acts are strictly prohibited in the exhibition rooms: Any photos, any acts considered as the copy of the works, use of writing tools other than pencil.

#### 第1章 ターナーとラスキン Section 1 RUSKIN AND TURNER

1

ジョゼフ・マラード・ウィリアム・ターナー  
ナポリ湾(怒れるヴェスヴィオ山)

1817年頃  
水彩  
ウィリアムスン美術館

Joseph Mallord William Turner  
*Bay of Naples (Vesuvius Angry)*  
Williamson Art Gallery and Museum

2

ジョゼフ・マラード・ウィリアム・ターナー  
エーレンブライトシュタイン—破壊される要塞

1819-20年  
水彩  
ペリ美術館

Joseph Mallord William Turner  
*Ehrenbreitstein, during the Demolition of the  
Fortress*  
Bury Art Museum

3

ジョゼフ・マラード・ウィリアム・ターナー  
エーレンブライトシュタイン

1832年頃  
水彩  
ペリ美術館

Joseph Mallord William Turner  
*Ehrenbreitstein*  
Bury Art Museum

4

ジョゼフ・マラード・ウィリアム・ターナー  
ブレンヴァ氷河—クールマイユール近くからの眺め

1836年(?)  
水彩、鉛筆  
ウィリアムスン美術館

Joseph Mallord William Turner  
*The Brenva Glacier, from near Courmayeur*  
Williamson Art Gallery and Museum

5

ジョゼフ・マラード・ウィリアム・ターナー  
カレの砂浜—引き潮時の餌採り

1830年  
油彩、カンヴァス  
ペリ美術館

Joseph Mallord William Turner  
*Calais Sands at Low Water; Poissards Collecting  
Bait*  
Bury Art Museum

6

サミュエル・ロジャーズ  
詩集『イタリア』

1830年  
エドワード・モクスン出版、ロンドン  
J・M・W・ターナーとトマス・ストザードによるヴェネットつき  
Kコレクション

Samuel Rogers  
*Italy, a Poem*

K. Collection

7

ジョン・ラスキン  
シックスの石灰岩層  
—サヴォワ地方、モン・ビュエ山麓

1844年  
鉛筆、水彩  
ウィリアムスン美術館

John Ruskin  
*Limestone of Sixt under the Buet, Savoy*  
Williamson Art Gallery and Museum

8

ジョン・ラスキン  
樹木と岩

1845年頃  
鉛筆、褐色インク、インク・ウォッシュ、ボディカラー  
ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin  
*Trees and Rocks*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

9

ジョン・ラスキン  
木の習作

1845年  
鉛筆、黒インク、インク・ウォッシュ、ボディカラー、青色の紙  
ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin  
*Tree Studies*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

10

ジョン・ラスキン  
木の習作—風景のなかの2本の木

1845年(?)  
鉛筆、水彩、インク  
ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin  
*Tree Study - Two Trees in a Landscape*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

11

ジョン・ラスキン  
ピラトゥス山—ルツェルン湖

1846年  
鉛筆、インク・ウォッシュ  
ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Mount Pilatus, Lake of Lucerne*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

12

ジョン・ラスキン  
ヴィルヌーヴの山々

1846年  
鉛筆、褐色インク、インク・ウォッシュ、濃い色のついた紙  
ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Mountains of Villeneuve*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

13

ジョン・ラスキン  
アヴランシュ—モン・サン・ミシェルを望む眺め

1848年  
鉛筆、インク、インク・ウォッシュ  
ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Avanches, looking towards Mont St Michel*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

14

ジョン・ラスキン  
ラ・フォリの滝

1849年(?)  
水彩  
パーミンガム美術館

John Ruskin

*La Cascade de la Folie*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

15

ジョン・ラスキン  
マグラン渓谷—クリューズの谷

1849年  
鉛筆、黒と褐色のインク、淡彩、ボディカラー  
ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Ravine at Maglans, Valley of Cluse*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

16

ジョン・ラスキン

モンブラン — サン・マルタンからの眺め

1849年(?)

鉛筆、水彩、白色の紙

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Mont Blanc from St Martin's*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

17

ジョン・ラスキン

セーニュ峠 — クールマイユール

1849年

鉛筆、水彩

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Col de la Seigne, Courmayeur*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

18

ジョン・ラスキン

モンブランの雪 — サン・ジェルヴェ・レ・バンで

1849年

鉛筆、水彩、ボディカラー

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*State of Snow on Mont Blanc at St Gervais les Bains*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

19

ジョン・ラスキン

片麻岩の習作 — グレンフィンラスで

1853年

鉛筆、インク・ウォッシュ

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Study of Gneiss Rock at Glenfinlas*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

20

ジョン・ラスキン

山の習作

1860年

鉛筆、ボディカラー、褐色の紙

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Study of Mountains*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

21

ジョン・ラスキン

ブルゾン — ジュネーヴを望む眺め

1862年

鉛筆、ペン、インク、水彩、ボディカラー

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Brezon, looking towards Geneva*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

22

ジョン・ラスキン

アルプスの風景

1850年代

鉛筆、青色の淡彩、白色の厚紙

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Alpine Landscape*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

23

ジョン・ラスキン

ストラスブール大聖堂の塔

1842年

鉛筆、水彩

マンチェスター大学ホイットワース美術館

John Ruskin

*The Tower of Strasbourg Cathedral*

The Whitworth, The University of Manchester

---

25

ジョン・ラスキン

サン・ミニアート・アル・モンテ聖堂ファサード部分

— ファレンツェ

1846年

鉛筆、水彩

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Part of the Façade of San Miniato al Monte, Florence*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

26

ジョン・ラスキン

サン・ソーヴール教会 — カーン

1848年

鉛筆、淡彩

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*St Sauveur, Caen*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

27

ジョン・ラスキン

高脚アーキヴォールト(飾)追録]:カ・フォスカリ川岸、  
ビザンツ帝国期の廃墟 — ヴェネツィア

1849年

鉛筆、水彩、ボディカラー

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Stilted Archivolts, from a Byzantine Ruin in the Rio di Cà Foscari, Venice*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

28

ジョン・ラスキン

サン・マルコ大聖堂 — 中央ポーチの柱頭彫刻

1851年

鉛筆、水彩

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*St Mark's Venice: Capital of Shaft of Central Porch*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

29

ジョン・ラスキン

サン・ヴルフラン大聖堂、アブヴイル

— 南側ポーチの人物彫刻細部

1868年

ペン、インク、インク・ウォッシュ、水彩

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*St Wulfran, Abbeville, detail of carved figures on south porch*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

30

ジョン・ラスキン

サン・ヴルフラン大聖堂、アブヴイル

— 川からの眺め

1868年

鉛筆、インク、水彩、ボディカラー

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

---

John Ruskin

*St Wulfran, Abbeville, from the River*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

31

ジョン・ラスキン

ライオン型の放水口 — シエナ、フォンテ・ブランダ

1870年

鉛筆、インク、水彩、ボディカラー

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Lion Waterspout on the Fonte Branda, Siena*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

32

ジョン・ラスキン

渦巻レリーフ — ルーアン大聖堂北トランセプトの扉

1882年

セピア、白色のボディカラー、クリーム色の紙

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Spiral Relief from the North Transept Door, Rouen Cathedral*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

33

ジョン・ラスキン

シモーネ・マルティエーニ《聖ラニエリの改宗》の模写

1845年

鉛筆、褐色インク、水彩

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*'The Conversion of St Ranieri', after Simone Martini*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

34

ジョン・ラスキン

フラ・アンジェリコ《受胎告知》の模写

1845年

鉛筆、白色の厚紙

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*'The Annunciation', after Fra Angelico*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

35

ジョン・ラスキン

テイントレット《東方三博士の礼拝》(サン・ロッコ  
同信会館)よりマギの模写

1845年

鉛筆、インク・ウォッシュ

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Copy after Tintoretto: 'Adoration of the Magi' in the Scuola Grande di San Rocco – detail of the Magi*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

---

36

ジョン・ラスキン

テイントレット《東方三博士の礼拝》(サン・ロッコ  
同信会館)よりケルビムの模写

1852年

鉛筆、インク・ウォッシュ

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Copy after Tintoretto: 'Adoration of the Magi' in the Scuola Grande di San Rocco – detail of the Cherubs*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

37

ジョン・ラスキン

バラの習作 ― ボッティチェリ《プリマヴェーラ》、「春」の衣装より

1874年

水彩、ボディカラー

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Study of Roses, from the dress of Spring in Botticelli's 'Primavera'*

Ruskin Foundation (Ruskin Library,Lancaster University)

38

ジョン・ラスキン

イラリア・デル・カレットの墓、ルッカ大聖堂 ― 頭部

1874年

鉛筆、水彩、ボディカラー

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Tomb of Ilaria del Caretto, Lucca Cathedral – Head*

Ruskin Foundation (Ruskin Library,Lancaster University)

40

ジョン・ラスキン

キャンピオン(シレネ属カラシナ)の茎

1876年

鉛筆、赤インク、インク・ウォッシュ

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Campion Stems (Silene Juncea)*

Ruskin Foundation (Ruskin Library,Lancaster University)

41

ジョン・ラスキン

月桂樹の枝の習作

1855–60年頃

ペン、褐色インク、水彩、ボディカラー

マンチェスター大学ホイットワース美術館

John Ruskin

*Study of a Laurel Branch*

The Whitworth,The University of Manchester

42

ジョン・ラスキン

巻貝

制作年不詳

水彩、ボディカラー、厚紙に貼った紙

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Ruskin

*Spiral Shell*

Ruskin Foundation (Ruskin Library,Lancaster University)

43

ジョン・ラスキン

『現代画家論』

第2版

1892年刷

1 第1巻「一般的原理について、真実について」

2 第2巻「想像的・思弁的能力について」

3 第3巻「諸事について」

4 第4巻「山岳美について」

5 第5巻(無題)

6 第6巻「索引」(1888年、総索引初版)

Kコレクション

John Ruskin

*Modern Painters*

1. Volume I 'Of General Principles, and of Truth'

2. Volume II 'Of the Imaginative and Theoretic Faculties'

3. Volume III 'Of Many Things'

4. Volume IV 'Of Mountain Beauty'

5. Volume V (No title)

6. Volume VI Index (1st General Index, 1888)

K. Collection

44

ジョン・ラスキン

『ヴェネツィアの石造建築』

全3巻(初版)

1851–53年

1 「基礎」篇、1851年

2 「海上階」篇、1853年

3 「凋落」篇、1853年

スミス・エルダー社(ロンドン)から出版、白色バックラム装丁

個人蔵

John Ruskin

*The Stones of Venice*

3 Vols. (First edition)

1. *The Foundations* 1851 Containing 21 plates

2. *The Sea-Stories* 1853 Containing 20 plates

3. *The Fall* 1853 Containing 12 plates

Private collection

45

ジョン・ラスキン

『素描の基礎 ― 初心者への三通の書簡』

第2版

1857年

スミス・エルダー社(ロンドン)から出版

個人蔵

John Ruskin

*The Elements of Drawing – in Three Letters to Beginners*

Private collection

46

ジョン・ラスキン

版木

a アルブレヒト・デューラーの翼の模写、1843年

b 百合、1846年

c 硬貨、1851年

d 硬貨、1853年

e 硬貨、1853年

f 中世の服装をした男女 ― 「廉直な心」、1856年

g 花、1856年

h 発芽した葉、1860年

マンチェスター美術館

John Ruskin

*Wood blocks from designs by John Ruskin, engraved by various hands including Arthur Burgess and one or other of the Miss Byfields*

a. *Wing after Albrecht Durer* 1843 engraved by Ann or Mary Byfield, perhaps related to the illustration that appeared in *Modern Painters* IV, fig.49

b. *Lily* 1846

c. *Three coins* 1851

d. *Three coins* 1853

e. *Three coins* 1853

f. *Couple in medieval dress – Ames Droit* 1856

g. *Flower* 1856

h. *Budding Leaves* 1860 engraved by Arthur Burgess

Manchester Art Gallery

47

フレデリック・ホリアー

老年のジョン・ラスキン

― プラントウッドにて「静寂の時」

1894年

写真

個人蔵

Frederick Hollyer

*John Ruskin, in old age, at Brantwood – 'Datur Hora Quiet'*

Private collection

## 第2章 ラファエル前派

### Section 2 THE PRE-RAPHAELITES

48

フォード・マドクス・ブラウン

ウインダムミア

1848–55年

油彩、カンヴァス

リヴァプール国立美術館、レディ・リーヴァー・アート・ギ

Ford Madox Brown

*Windermere*

National Museums Liverpool, Lady Lever Art Gallery,F

49

フォード・マドクス・ブラウン

待ちわびて ― 1854-55年イギリスの冬の

1851–52年／1854–55年

油彩、オーク板

リヴァプール国立美術館、ウォーカー・アート・ギャラリー

Ford Madox Brown

*Waiting: An English Fireside in the Winter 1854-55*

National Museums Liverpool, Walker Art Gallery, Live

50

フォード・マドクス・ブラウン

トリストラム脚の死

1864年

油彩、カンヴァス

バーミンガム美術館

Ford Madox Brown

*The Death of Sir Tristram*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham Council

51

ジョン・エヴァレット・ミレイ

ジョン・ラスキンの肖像

1853年

鉛筆、水彩

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

John Everett Millais

*John Ruskin*

Ruskin Foundation (Ruskin Library,Lancaster Unive

52

ジョン・エヴァレット・ミレイ

滝

1853年

油彩、板

デラウェア美術館

John Everett Millais

*The Waterfall*

Delaware Art Museum, Samuel and Mary R. Bancroft 1935

53

ジョン・エヴァレット・ミレイ

装飾デザインのための自然のスケッチ

(ジョン・ラスキンの提案に従って制作)

1853年

ペン、褐色インク

バーミンガム美術館

John Everett Millais

*Sketches for 'Natural Ornament' (follow suggestions from John Ruskin)*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham Council

54

ジョン・エヴァレット・ミレイ

結婚通知 ― 捨てられて

1854年

油彩、板

個人蔵

John Everett Millais  
*Wedding Cards: Jilted*  
Private collection

55

ジョン・エヴァレット・ミレイ  
新約聖書よりイエスのたとえ話  
1863年頃  
1「パン種」  
水彩  
2「ハリサイ人と取税人」  
水彩  
3「秘された宝」  
水彩  
アバディーン美術館

John Everett Millais  
*Three Parables from the New Testament*  
1. *The Parable of the Leaven*  
2. *The Parable of the Pharisee and the Publican*  
3. *The Parable of the Hidden Treasure*  
Aberdeen Art Gallery

56

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
エリザベス・シダール ―《ダンテが見たラケルとレアの女]影》のための習作  
1855年頃  
鉛筆  
バーミンガム美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*Study of Elizabeth Siddal, for 'Dante's Vision of Rachel and Leah'*  
Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

57

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
王妃の私室のランスロット卿  
1857年  
ペン、インク  
バーミンガム美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*Sir Launcelot in the Queen's Chamber*  
Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

58

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
廃墟の礼拝堂のガラハッド卿  
1857-59年頃  
水彩  
バーミンガム美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*Sir Galahad at the Ruined Chapel*  
Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

59

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
ジョージ・ブライス・ボイスとファニー・コンフォース  
1859年頃  
ペン、インク、紙  
タリー・ハウス美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*George Price Boyce and Fanny Cornforth*  
Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

60

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
ボルジア家の人々  
1851-59年(実際は1850年代末に制作)  
水彩、紙  
タリー・ハウス美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*Borgia*  
Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

61

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
ポテバルの前で告発されるヨセフ  
1860年  
ペン、インク  
バーミンガム美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*Joseph accused before Potiphar*  
Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

62

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
ウィリアム・モリス ―《ダヴィデの末裔》、  
ダヴィデ王の頭部のための習作  
1861年頃  
鉛筆  
バーミンガム美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*Study of William Morris, for the head of King David in 'The Seed of David'*  
Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

63

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
ウエヌス・ウェルティコルディア(魔性のヴィーナス)  
1863-68年頃  
油彩、カンヴァス  
ラッセル・コーツ美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*Venus Verticordia*  
Russell-Cotes Art Gallery & Museum, Bournemouth

65

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
クリスマス・キャロル  
1867年  
油彩、カンヴァス  
個人蔵

Dante Gabriel Rossetti  
*A Christmas Carol*  
Private collection, on loan to Lady Lever Art Gallery, Port Sunlight

66

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
「夜が明けて」  
―ファウストの宝石を見つめるグレートヒェン  
1868年  
チョーク、紙  
タリー・ハウス美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*'Risen at Dawn': Gretchen discovering Faust's Jewels*  
Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

67

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
ラ・ドンナ・デッラ・フィネストラ(窓辺の女性)  
1870年  
パステル、緑色の紙  
マンチェスター大学ホイットワース美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*La Donna della Finestra*  
The Whitworth, The University of Manchester

68

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
ソファで眠るジェイン・モリスの習作  
1870-71年頃  
ペン、インク、淡彩  
バーミンガム美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*Study of Jane Morris, asleep on a Sofa*  
Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

69

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
《水辺の柳》のための習作  
1871年  
色チョーク、薄緑色の紙  
バーミンガム美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*Study for 'Water Willow'*  
Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

70

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
祝福されし乙女  
1875-81年  
油彩、カンヴァス  
リヴァプール国立美術館、レディ・リーヴァー・アート・ギャラリー

Dante Gabriel Rossetti  
*The Blessed Damozel*  
National Museums Liverpool, Lady Lever Art Gallery, Port Sunlight

71

ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
ムネーモシユエーネー(記憶の女神)  
1876-81年  
油彩、カンヴァス  
デラウェア美術館

Dante Gabriel Rossetti  
*Mnemosyne*  
Delaware Art Museum, Samuel and Mary R. Bancroft Memorial, 1935

72

ジョン・ロバート・パーソンズ  
ジェイン・モリス  
1865年  
湿板写真  
バーミンガム美術館

John Robert Parsons  
*Jane Morris*  
Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

73

ウィリアム・ホルマン・ハント  
「誠実に励めば美しい顔になる」  
1866年  
油彩、板  
個人蔵

William Holman Hunt  
*'Honest Labour has a Comely Face'*  
Private collection

74

ウィリアム・ホルマン・ハント  
「甘美なる無為」  
1866年  
油彩、カンヴァス  
個人蔵

William Holman Hunt  
*'Il Dolce far Niente'*  
Private collection, on loan to Walker Art Gallery, Liverpool

76

アーサー・ヒューズ  
リュートのひび  
1861-62年  
油彩、カンヴァス  
タリー・ハウス美術館

Arthur Hughes  
*The Rift within the Lute*  
Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

77

アーサー・ヒューズ

音楽会

1861–64年

油彩、カンヴァス

リヴァプール国立美術館、レディ・リーヴァー・アート・ギャラリー

Arthur Hughes

*A Music Party*

National Museums Liverpool, Lady Lever Art Gallery, Port Sunlight

78

アーサー・ヒューズ

マドレーヌ

1862年頃 / 1865年頃

油彩、カンヴァス

タリー・ハウス美術館

Arthur Hughes

*Madeleine*

Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

79

アーサー・ヒューズ

ブラッケン・ディーンのカリスマス・キャロル

— ジェイムズ・リサート家

1878–79年

油彩、カンヴァス

バーミンガム美術館

Arthur Hughes

*A Christmas Carol at Bracken Dene – The Family of James Leathart*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council (on loan)

80

ジョン・ブレット

釣り人

1855年頃

油彩、カンヴァス

個人蔵

John Brett

*The Angler*

Private collection

81

ジョン・ブレット

リンドウの習作

1862年頃

水彩

ウィリアムズ美術館

John Brett

*Study of a Gentian*

Williamson Art Gallery and Museum

82

アルフレッド・ウィリアム・ハント

コーネル・ロス — 春

1857年

油彩、カンヴァス

個人蔵

Alfred William Hunt

*Cornel Rhos – Spring*

Private collection

83

ジョン・ウィリアム・インチボルト

アーサー王の島

1862年頃

油彩、カンヴァス

個人蔵

John William Inchbold

*King Arthur's Island*

Private collection

### 第3章 ラファエル前派周縁

#### Section 3 PRE-RAPHAELITE FRIENDS AND ASSOCIATES

84

ウィリアム・ヘンリー・ハント

ヨーロッパカヤクグリ(イワヒバリ属)の巣

1840年頃

水彩

ペリ美術館

William Henry Hunt

*Hedge sparrow's Nest*

Bury Art Museum

85

ウィリアム・ヘンリー・ハント

果実 — スピノサスモモとプラム

1843年(?)

水彩

ウィリアムズ美術館

William Henry Hunt

*Fruit – Sloes and Plums*

Williamson Art Gallery and Museum

86

ジョージ・ブライス・ボイス

マステイーノ・デッラ・スカラ2世の墓 — ヴェローナ

1854年

水彩

個人蔵

George Price Boyce

*The Tomb of Mastino II della Scala, Verona*

Private collection

87

ウィリアム・ダイス

初めて彩色を試みる少年ティツイアーノ

1856–57年

油彩、カンヴァス

アバディーン美術館

William Dyce

*Titian Preparing to make his first Essay in*

*Colouring*

Aberdeen Art Gallery

88

ウィリアム・ダイス

アラン島の風景

1858–59年

油彩、カンヴァス

アバディーン美術館

William Dyce

*A Scene in Arran*

Aberdeen Art Gallery

89

フレデリック・レイトン

母と子(サクランボ)

1864–65年頃

油彩、カンヴァス

ブラックバーン美術館

Frederic Leighton (Lord Leighton of Stretton)

*Mother and Child (Cherries)*

Blackburn Museum and Art Gallery

90

ジョージ・フレデリック・ワッツ

エンディミオン

1868–73年頃

油彩、カンヴァス

個人蔵

George Frederic Watts

*Endymion*

Private collection

91

ジョージ・フレデリック・ワッツ

オルペウスとエウリュディケー

1870年頃

油彩、カンヴァス

個人蔵

George Frederic Watts

*Orpheus and Eurydice*

Private collection

92

シメオン・ソロモン

善き子らを守護する聖ミカエル

1864年

水彩、紙

タリー・ハウス美術館

Simeon Solomon

*St Michael of Good Children*

Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

93

シメオン・ソロモン

詩

1864年

水彩

グロウヴナー美術館

Simeon Solomon

*Poetry*

Grosvenor Museum, Chester

94

シメオン・ソロモン

中国の服を着た女性

1865年

水彩

グロウヴナー美術館

Simeon Solomon

*Lady in a Chinese Dress*

Grosvenor Museum, Chester

95

フレデリック・サンズ

ヴァルキューリ

1868–73年

油彩、カンヴァス

ウィリアムズ美術館

Frederick Sandys

*Valkyrie*

Williamson Art Gallery and Museum

96

トマス・マシューズ・ルック

アハブ王の所有欲

1879年頃

油彩、カンヴァス

1 ナボトのブドウ園を欲しがらるアハブ

2 ブドウ園を手放すことを拒否するナボト

3 偽の証言をさせてブドウ園を取り上げることをアハブに約束するイゼベル

4 アハブとイゼベルに破滅を予言するエリヤ

5 犬の群れに投げ込まれるイゼベル

6 戦場から運び込まれるアハブの遺体

ラッセル・コート美術館

Thomas Matthews Rooke

*King Ahab's Coveting*

1. *Ahab covets Naboth's Vineyard*

2. *Naboth refuses Ahab his Vineyard*

3. *Jezebel promises Ahab to obtain it by false Witness*

4. *Elijah prophesises to Ahab and Jezebel their End*

5. *Jezebel thrown to the Dogs*

6. *Ahab's Body brought in from the Battlefield*

Russell-Cotes Art Gallery & Museum

97

アルフォンス・ルグロ

エドワード・バーン=ジョーンズの肖像

1868-69年頃

油彩、板

アバディーン美術館

Alphonse Legros

*Portrait of Edward Burne-Jones*

Aberdeen Art Gallery

## 第4章 バーン=ジョーンズ

### Section 4 BURNE-JONES

98

エドワード・バーン=ジョーンズ

受胎告知

1857-61年

水彩

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*The Annunciation*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

99

エドワード・バーン=ジョーンズ

金魚の池

1861-62年

グアッシュ、アラビアゴム、紙

タリー・ハウス美術館

Edward Burne-Jones

*The Goldfish Pool*

Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

101

エドワード・バーン=ジョーンズ

マーク王と美しきイズールト

1862年

水彩

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*King Mark and La Belle Iseult*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

102

エドワード・バーン=ジョーンズ

慈悲深き騎士

1863年

水彩、ボディカラー、アラビアゴム

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*The Merciful Knight*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

103

エドワード・バーン=ジョーンズ

風景

1863年頃

水彩

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*Landscape*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

104

エドワード・バーン=ジョーンズ

風景

1863年頃

水彩

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*Landscape*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

105

エドワード・バーン=ジョーンズ

書斎のチャオサー

1863年

チョーク、インク・ウォッシュ、水彩、黒チョーク、亜鉛白

ラスキン財団(ランカスター大学ラスキン・ライブラリー)

Edward Burne-Jones

*Chaucer in his Study*

Ruskin Foundation (Ruskin Library, Lancaster University)

106

エドワード・バーン=ジョーンズ

ウィリアム・モリス『地上の楽園』挿絵版のための習作

1865年

鉛筆

a 海辺のウエススと沐浴のプシュケ

b 眠るクビドを見つめるプシュケ

c プシュケをブラック・マウンテンに行かせるウエスス

d カロンにコインを渡すプシュケ

e プシュケを乗せてステュクス川を漕いでいくカロン

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*Studies for the projected illustrated edition of William Morris's 'The Earthly Paradise'*

a. *Venus on the Margin of the Sea and Psyche at the Bath*

b. *Psyche gazing at Cupid Asleep*

c. *Venus making Psyche go to the Black Mountain*

d. *Psyche giving the Coin to Charon*

e. *Charon rowing Psyche across the Styx*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

107

エドワード・バーン=ジョーンズ

小箱を持ってプロセルピナのもとへ行くようウエススに命じられ、塔から身を投げける決心をするも、死せる女王の声に引き留められるプシュケ

1865年

版木の小口部分に描かれた素描

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*Psyche, sent by Venus with a Casket to Proserpine, determines to fling herself from a Tower, but is restrained by the Voice of a Dead Queen*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

108

エドワード・バーン=ジョーンズ

「クビドとプシュケ」の物語の版木(ウィリアム・モリス『地上の楽園』挿絵版用)

1866-67年頃

マンチェスター美術館

Edward Burne-Jones

*Engraved woodblocks after designs by Edward Burne-Jones, (1833-1898) for the story of 'Cupid and Psyche' for the projected illustrated edition of William Morris's The Earthly Paradise*

Manchester Art Gallery

109

エドワード・バーン=ジョーンズ

a 丘への行進

b 宮殿に入るプシュケ

1867-68年

モリス著『地上の楽園』(1866-67年頃)のために企画された木版画、バーン=ジョーンズの原画、モリスの彫板

黒インク、紙

マンチェスター大学ホイットワース美術館

Edward Burne-Jones

a. *The Procession to the Hill*

b. *Psyche entering the Court of the Palace*

The Whitworth, The University of Manchester

110

エドワード・バーン=ジョーンズ

嘆きの歌

1865-66年

水彩、ボディカラー、カンヴァスに貼った紙

ウィリアム・モリス・ギャラリー

Edward Burne-Jones

*The Lament*

Brangwyn Gift, William Morris Gallery, London Borough of Waltham Forest

112

エドワード・バーン=ジョーンズ

ピュラモスとティスベ

1872-76年

水彩、ボディカラー、ヴェラム紙

ウィリアムズ美術館

Edward Burne-Jones

*Pyramus and Thisbe*

Williamson Art Gallery and Museum

113

エドワード・バーン=ジョーンズ

ペレウスの饗宴

1872-81年

油彩、板

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*The Feast of Peleus*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

114

エドワード・バーン=ジョーンズ

「怠惰」の庭の巡礼者と踊る人たち

1874年

水彩、ボディカラー

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*The Pilgrim and Dancers in the Garden of Idleness*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

115

エドワード・バーン=ジョーンズ

主の日——ステンドグラス用デザイン

1874-75年(1880年に加筆)

鉛筆、金銀のエナメル絵具、パステル

リヴァプール国立美術館、レディ・リヴァー・アート・ギャラリー

Edward Burne-Jones

*Dies Domini – Design for the stained glass*

National Museums Liverpool, Lady Lever Art Gallery, Port Sunlight

116

エドワード・バーン=ジョーンズ

甲冑のペルセウス習作——《メドゥーサ発見》

1881年

水彩、ボディカラー、チョーク

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*Study for the Figure of Perseus in Armour, for 'The Finding of Medusa'*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council



117

エドワード・バーン＝ジョーンズ

赦しの樹

1881-82年

油彩、カンヴァス

リヴァプール国立美術館、レディ・リーヴァー・アート・ギャラリー

Edward Burne-Jones

*The Tree of Forgiveness*

National Museums Liverpool, Lady Lever Art Gallery, Port Sunlight

118

エドワード・バーン＝ジョーンズ

プロセルピナの掠奪

1883-84年頃

鉛筆、チョーク

バーミンガム美術館

Edward Burne-Jones

*The Rape of Proserpine*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

119

エドワード・バーン＝ジョーンズ

コフェテュア王と乞食娘

1883年頃

油彩、板

個人蔵

Edward Burne-Jones

*King Cophetua and the Beggar Maid*

Private collection

120

エドワード・バーン＝ジョーンズ

三美神

1885-96年頃

バステル、紙

タリー・ハウス美術館

Edward Burne-Jones

*The Three Graces*

Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

121

エドワード・バーン＝ジョーンズ

a 男の妖精の習作

—《アヴァロンのアーサー王の眠り》

b 女の妖精の習作

—《アヴァロンのアーサー王の眠り》

a: 1885年 / b: 1885年頃

鉛筆

ウィリアムスン美術館

Edward Burne-Jones

*a. Study of a male Fairy for 'The Sleep of Arthur in Avalon'*

*b. Study of a female Fairy for 'The Sleep of Arthur in Avalon'*

Williamson Art Gallery and Museum

122

エドワード・バーン＝ジョーンズ

少女の頭部習作

— 連作「いばら姫」《バラの寝室》用デザイン

1886年

鉛筆、紙

ウィリアム・モリス・ギャラリー

Edward Burne-Jones

*Study for a head of girl, design for 'The Rose Bower' of the 'Briar Rose Series'*

Brangwyn Gift, 1935, William Morris Gallery, London Borough of Waltham Forest

123

エドワード・バーン＝ジョーンズ

バラの花芯

1890年頃

チャコール、白のボデイカラー、色チョーク

ウィリアム・モリス・ギャラリー

Edward Burne-Jones

*The Heart of the Rose*

Cecil French Bequest, 1954, William Morris Gallery, London Borough of Waltham Forest

124

エドワード・バーン＝ジョーンズ

女性の頭部

1890年

鉛筆

リヴァプール国立美術館、ウォーカー・アート・ギャラリー

Edward Burne-Jones

*Female Head*

National Museums Liverpool, Walker Art Gallery

## 第5章 ウィリアム・モリスと装飾芸術

### Section 5 WILLIAM MORRIS AND THE DECORATIVE ARTS

125

撮影者不詳

帽子を被った作業着姿のウィリアム・モリス

1876年頃

写真

ウィリアム・モリス・ギャラリー

Anonymous

*William Morris in Hat and Working-smock*

William Morris Gallery, London Borough of Waltham Forest

126

ウィリアム・モリス

アルテミス

1861年頃

インク、赤チョーク、茶色のウォッシュ、紙

タリー・ハウス美術館

William Morris

*Artemis*

Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

127

ウィリアム・モリス

エアの住人の物語

1871年

赤色の皮装本

ペン、インク、水彩、金による挿絵つき

バーミンガム美術館

William Morris

*The Story of the Dwellers at Eyr*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

128

モリス・マーシャル・フォークナー商会

格子垣(壁紙)

1862年(デザイン)

デザイン:ウィリアム・モリス

ブロックプリント、紙

ウィリアム・モリス・ギャラリー

Morris, Marshall, Faulkner & Co.

*Trellis*

William Morris Gallery, London Borough of Waltham Forest

129

モリス・マーシャル・フォークナー商会

迷宮のテセウスとミノタウロス(タイル用デザイン)

1862年

デザイン:エドワード・バーン＝ジョーンズ

茶色のウォッシュ、ペン、インク

バーミンガム美術館

Morris, Marshall, Faulkner & Co.

*Theseus and the Minotaur in the Labyrinth*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

130

モリス・マーシャル・フォークナー商会

シンデレラ—「灰かぶり娘」と呼ばれていた娘がガラスの靴を与えられ、やがて王女となる物語

1863-64年

デザイン:エドワード・バーン＝ジョーンズ

絵付:ルーシー・フォークナー

6枚の錫釉陶器タイルからなるパネル

リヴァプール国立美術館、ウォーカー・アート・ギャラリー

Morris, Marshall, Faulkner & Co.

*Cinderwench*—“*This is the Story of the Maid with the glass Shoe and of how She became Queen that was before called Cinderwench*”

National Museums Liverpool, Walker Art Gallery

131

モリス・マーシャル・フォークナー商会

サセックス・チェア

a 肘掛け椅子(おそらくダンテ・ゲイブリエル・ロッセティがデザイン)

1863年

b 椅子(おそらくフォード・マドクス・ブラウンがデザイン)

1865年頃

c 椅子

1865年頃

大阪中之島美術館

Morris, Marshall, Faulkner & Co.

*Sussex rush-seated Chairs*

a. The 'Rossetti' Arm chair, said to have been designed by Dante Gabriel Rossetti, for Morris, Marshall, Faulkner & Co. 1863

b. The 'Madox Brown' chair, said to have been designed by Ford Madox Brown, for Morris, Marshall, Faulkner & Co. c. 1865

c. Chair c. 1865

Nakanoshima Museum of Art, Osaka

132

モリス商会

3人掛けソファ

1880年頃

クルミ材、毛織生地

リヴァプール国立美術館、ウォーカー・アート・ギャラリー

Morris & Co.

*Three seater upholstered sofa*

National Museums Liverpool, Walker Art Gallery

134

モリス・マーシャル・フォークナー商会

「エッサイの木」の窓デザイン

1860-61年

デザイン:エドワード・バーン＝ジョーンズ

ステンドグラス制作:ジェイムズ・パウエル商会

鉛筆、セピアのインク

バーミンガム美術館

Morris, Marshall, Faulkner & Co.

*Design for a window showing The Tree of Jesse*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

135

モリス・マーシャル・フォークナー商会

「山上の垂訓」の窓デザイン

(セルズリー、オール・セインツ教会)

1861年頃

デザイン:ダンテ・ゲイブリエル・ロッセティ

筆、ペン、インク、紙

ウィリアム・モリス・ギャラリー

Morris, Marshall, Faulkner & Co.

*Design for a window for The Sermon on the Mount for All Saints, Selsley*

Cecil French Bequest, 1954, William Morris Gallery, London Borough of Waltham Forest

136

モリス・マーシャル・フォークナー商会

「受胎告知」のステンドグラス・デザイン

1862年頃

デザイン:エドワード・バーン＝ジョーンズ

セント・マーティンズ・オン・ザ・ヒル教会(スカーパーラ)で使用

水彩

バーミンガム美術館

Morris, Marshall, Faulkner & Co.  
*Design for Stained Glass for The Annunciation*  
Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

137

モリス・マーシャル・フォークナー商会

a 巻き物を持つ天使(左)

b 巻き物を持つ天使(右)

1863年

セント・ピーターズ教区教会(ブラッドフォード)内陣の東側窓のステンドグラス

ステンドグラス

マンチェスター大学ホイットワース美術館

Morris, Marshall, Faulkner & Co.

a. *Angel with Scroll to left*

b. *Angel with Scroll to right*

The Whitworth, The University of Manchester

138

モリス商会

「テーブルの巫女」のステンドグラス下絵  
(ケンブリッジ、ジーザス・カレッジ礼拝堂)

1875年

デザイン: エドワード・バーン=ジョーンズ

黒および色チョーク、金のハイライト

バーミンガム美術館

Morris & Co.

*Cartoon for Stained Glass for The Tiburtine Sibyl for Jesus College chapel, Cambridge*

Birmingham Museums Trust on behalf of Birmingham City Council

139

モリス商会

「新天地ヴィンランドへの航海」のステンドグラス・デザイン

1883-84年

デザイン: エドワード・バーン=ジョーンズ

チョーク、紙

タリー・ハウス美術館

Morris & Co.

*Design for Stained Glass for The Voyage to Vinland the Good*

Carlisle, Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

140

モリス商会

ポームーナ(果物の女神)

デザイン: バーン=ジョーンズおよびモリス、1882年

タペストリ制作: モリス商会(マートン・アビー工房)、1884-85年

ウール、絹、綿の経糸

マンチェスター大学ホイットワース美術館

Morris & Co.

*Pomona*

The Whitworth, University of Manchester

141

モリス商会

ウィリアム・モリスとモリス商会による装飾用織物

1876-83年

a ヨウラクユリ 1876年

力織機によるジャカード織、ウール、モヘア・ダマスク

b ヨウラクユリ 1876年

力織機によるジャカード織、ウール、モヘア・ダマスク

c スイカズラ 1876年

綿プリント

d 孔雀と竜 1878年

手織り機によるジャカード織、ウール

e イチゴ泥棒 1883年

綿プリント

タリー・ハウス美術館

Morris & Co.

*Furnishing fabrics designed by William Morris and made by Morris & Co.*

a. *Crown Imperial* 1876

b. *Crown Imperial* 1876

c. *Honeysuckle* 1876

d. *Peacock and Dragon* 1878

e. *Strawberry Thief* 1883

Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

142

モリス商会

チェリー

1895年頃

シルク刺繍(デザイン: J・H・ダール/制作: ヘレン・ルーカス・トゥース)

ルーカス・トゥース婦人の令嬢デュランド婦人より寄贈(1952年)、  
ウィリアム・モリス・ギャラリー

Morris & Co.

*Cherry Tree*

Presented by Lady Durand, Daughter of Lady Lucas Tooth, 1952,  
William Morris Gallery, London Borough of Waltham Forest

143

ケルムスコット・プレス

ジョン・ラスキン「ゴシックの本質」  
(『ヴェネツィアの石造建築』の一章)

1892年

ウィリアム・モリスの序文つき

デザイン: ウィリアム・モリス

印刷: ケルムスコット・プレス(1892年)

出版: ジョージ・アレン(小型クォート判)

ウィリアム・モリス・ギャラリー

Kelmscott Press

*John Ruskin, The Nature of Gothic: A Chapter of 'The Stones of Venice'*

William Morris Gallery, London Borough of Waltham Forest

144

ケルムスコット・プレス

ウィリアム・モリス『ユートピア便り』

1892年

デザイン: ウィリアム・モリス

印刷: ケルムスコット・プレス

ウィリアム・モリス・ギャラリー

Kelmscott Press

*William Morris, News from Nowhere*

William Morris Gallery, London Borough of Waltham Forest

145

ケルムスコット・プレス

ケルムスコット版『チョーサー作品集』

1896年

デザイン: エドワード・バーン=ジョーンズ、ウィリアム・モリス

印刷: ケルムスコット・プレス

ブラックバーン美術館

Kelmscott Press

*The Works of Geoffrey Chaucer, known as 'The Kelmscott Chaucer'*

Blackburn Museum and Art Gallery

146

ケルムスコット・プレス

ウィリアム・モリス『地上の楽園』

第1巻

1896-97年

ウィリアム・モリス・ギャラリー

Kelmscott Press

*The Earthly Paradise, by William Morris*

Volume I

William Morris Gallery, London Borough of Waltham Forest

147

ウィリアム・ド・モーガン

セラミック・タイル

1872-88年

a キロー 1872-81年

セラミック・タイル

b 渦巻き 1872-81年

セラミック・タイル

c 孔雀 1881-88年

セラミック・タイル6枚張り

d バラの花と葉 1881-88年

セラミック・タイル4枚張り

e モールバラ 1881-88年

セラミック・タイル2枚張り

タリー・ハウス美術館

William De Morgan

*Ceramic tiles*

a. *Gillow* 1872-81

b. *Scroll* 1872-81

c. *Peacock* 1881-88

d. *Rose and Foliage* 1881-88

e. *Marlborough* 1881-88

Tullie House Museum and Art Gallery, Carlisle, UK

グラナダで生まれ、ローマとパリで育ち、ヴェネツィアで活動したマリアノ・フォルチュニ (Mariano Fortuny y Madrazo, 1871-1949) は、20世紀初頭、「デルフォス (Delphos)」という名の絹のドレスを世に送り出したことで知られる。「デルフォス」は、自然染料で染めた絹地に繊細なプリーツを付けて筒形に縫製、重りの機能を兼ねたガラスのトンボ玉を付けた、当時類例のない単純な構造のドレスである。手作業で付けられた優雅なプリーツが、長期間形状が保たれたこと、またその比類ない優美さから、フォルチュニは「ヴェネツィアの魔術師」と綽名された。

登場時は室内着であった「デルフォス」は、1980年代に女優などのセレブリティが身につけて雑誌などに登場したことにより、ファッション界で注目され、以降、フォルチュニはファッションデザイナーとして認識されるようになる。しかし生前、フォルチュニは画家を自認し、1895年に始まったヴェネツィア・ビエンナーレに絵画を度々出品、またヴェネツィアの自邸を自らの壁画で飾ったほか、若い時分に魅了されたりヒャルト・ワーグナーの楽劇の場

面を大量に描くなど、画家としての活動を精力的に行った。また、10代のころに始めた写真は、ゼラチン・シルバー・プリントから35ミリのカラーネガフィルムに至るまで、その技術の発展とともに様々な技法を手掛けていく。仕事、私生活を問わず、身近な対象を撮影した記録写真から芸術的な風景写真まで、フォルチュニの残した写真関連資料は数万点に及ぶ。また、劇場計画に携わり、ワーグナーをはじめとする舞台美術を手掛け、舞台上の演者に間接的に照明があたる現代舞台照明の原点となるシステムを発明し、舞台衣装をも手掛けるなど、舞台に関する仕事もフォルチュニの業績のなかでは重要な位置を占める。服飾関連では「デルフォス」のほか、絹ベルベットを使用したマントなどの外衣を制作、染織関連では、ジュデッカ島に工場を建てて絹ベルベットや綿のプリント生地を量産する体制を整え、ロンドンやパリでは直営方式、ニューヨークでは委託販売方式を採用するなど、企業家としての才能も持っていた。染織の創造の源泉には、日本の染め型紙を含む、世界の染織関連資料の研究があり、発明した技術には特許

## マリアノ・フォルチュニ — 織りなすデザイン展

# All About Mariano Fortuny

Mariano Fortuny y Madrazo (1871-1949) was born in Granada, Spain, raised in Rome and Paris, and built his successful career in Venice. He is especially known for the silk Delphos gown that he gave the world at the beginning of the twentieth century. The Delphos was made of naturally dyed silk sewn with delicate pleats in a cylindrical shape, with beaded glass dragonflies functioning as both ornaments and weights. A dress of utterly simple structure, it was without peer in its day. The fine hand-sewn pleats' ability to retain their shape over long periods of time and the incomparable elegance of the gown earned Fortuny the title "The Magician of Venice."

The Delphos was originally presented as at-home wear. In the 1980s, however, it was rediscovered by actresses and other celebrities who were shown wearing these lovely gowns in magazines, attracting attention in the fashion world. Since then, Fortuny has been regarded as a fashion designer. During his lifetime, however, he saw himself as a painter. He showed his work repeatedly in the Venice Biennale, which was founded in 1895, and decorated his home in Venice with his own murals. Fascinated by Richard Wagner's operas since his youth, Fortuny produced a large number of paintings of scenes from them as he passionately engaged in his career as an artist.

He also began working in photography in his teens and, as photographic technologies evolved, mastered many techniques, from the gelatin silver print to 35 millimeter color negative film. From documentary photographs of everything around him, in both his working world and his private life, to art landscape photographs, he left us tens of thousands of photography-related materials.

Set planning and stage design, including designs for the works of Wagner, was another of Fortuny's areas of expertise. He also invented the lighting system that was the origin point for contemporary stage lighting systems, which illuminate the performers on stage indirectly. Stage costume was another of his fields; indeed, work related to the stage occupies a major position in Fortuny's oeuvre.

His clothing-related achievements included, in addition to the Delphos, creating capes and other outer garments of silk velvet. In textile production, he built a factory on the island of Guidecca, where he established a system for the mass production of silk velvet and printed cotton fabrics. He opened directly managed shops in London and Paris and sold his fabrics via a stockist in New York; clearly he was a gifted businessman as well. The creative origin of his work in textiles was his research on materials related

を取得している。フォルチュニは20世紀が生んだ、まさに新しい形の芸術家であった。

本展は、絵画、版画、舞台芸術、染織、服飾、写真、そして、彼が所蔵していた日本をはじめとする異国のデザインの資料類などにより構成された、知られざるフォルチュニの業績を総合的に展覧した世界初の大規模回顧展である。作品や資料が大量に保存されているヴェネツィアのフォルチュニ美術館の全面的な協力の下、同館との共同研究に基づき、同館所蔵の最上の作品を厳選、さらには日本国内の美術館ほか所蔵する「デルフォス」ほか約30点の服飾作品を組み合わせ構成された。

教育普及関連事業としては、開幕時にフォルチュニ美術館館長のダニエラ・フェッレティ氏、建築史家の陣内秀信氏、服飾史家の朝倉三枝氏が登壇するシンポジウムを開催、マリアノ・フォルチュニの創作の原点に迫った。また教育普及ツール「マリアノ・フォルチュニ 人生双六」を制作、子どものみならず、大人にも好評を得た。

会 期：2019年7月6日(土)～2019年10月6日(日) [87日間]  
開館時間：10時～18時(祝日を除く金曜、第2水曜、8月12～15日、会期最終週平日は21時まで)  
※入館は閉館の30分前まで  
休 館 日：月曜休館(但し、祝日・振替休日の場合、9月30日とトークフリーデーの7月29日、8月26日は開館)

主 催：三菱一号館美術館、毎日新聞社、フォルチュニ美術館、  
ヴェネツィア市立博物館群財団  
後 援：イタリア大使館  
協 力：アリタリアーイタリア航空  
協 賛：大日本印刷

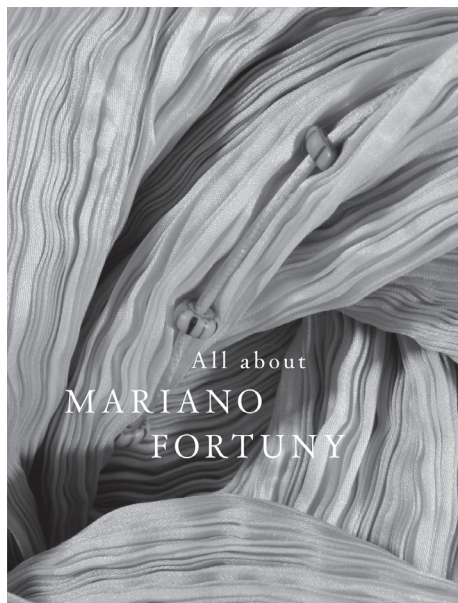
入場者数：51,478人

to weaving and dyeing throughout the world, including Japan's *katagami* stencils for dyeing. He also secured patents on the techniques he invented. Fortuny was clearly a new, distinctively twentieth-century type of artist.

This exhibition was the world's first large-scale Fortuny retrospective. To provide a comprehensive view of Fortuny's unknown achievements, it was composed of paintings, prints, stage designs, textiles, clothing, photographs, and materials concerning the influence of designs from Japan and other exotic countries. Receiving the full cooperation of the Fondazione Musei Civici di Venezia—Museo Fortuny, which has an enormous collection of his works and related materials, we carried out collaborative research with it. The result was an exposition combining a careful selection of the finest works from the Museo Fortuny about thirty garments, including Delphos gowns, from the collections of museums in Japan.

As an educational and outreach project, we held a symposium at the opening of the exhibition. Featuring Daniela Ferretti, director of the Museo Fortuny, the architectural historian Jinnai Hidenobu, and the fashion historian Asakura Mie, the symposium explored the origins of Mariano Fortuny's creativity. We also created the Mariano Fortuny's Life Sugoroku Game as a

educational tool. This game has proven popular among adults as well as children.





展示風景 1



展示風景 2



展示風景 3



展示風景 4



記念シンポジウム  
「万能のデザイナー、マリアノ・フォルチュニと水都ヴェネツィア」



担当学芸員によるレクチャー  
展覧会を語る「マリアノ・フォルチュニ 織りなすデザイン展」



教育普及ツール  
みどころガイド「マリアノ・フォルチュニ 人生双六」



落語イベント  
宮廷ドレス見学風景

## 広報活動

### 媒体掲載件数

掲載件数：332件  
T V：3件  
ラジオ：1件  
新聞：119件  
雑誌：96件  
WEB：113件

### 主要掲載

- **T V:**  
BS テレ東 「ファッション通信」イタリア特集 7月13日O.A.  
(同日付で番組YouTubeでも公開)  
NHK Eテレ 「日曜美術館」アートシーン 9月1日O.A.  
(再放送同日夜)  
テレビ朝日動画 「Musee du ももクロ」 9月12日O.A.
- **新聞:**  
朝日新聞 7月18日夕刊 ファッション面  
産経新聞 7月21日朝刊 文化面  
毎日新聞 8月26日夕刊 文化面  
毎日新聞 9月11日夕刊 文化面 目は語る  
高階秀爾「ヴェネツィアの魔術師」フォルチュニ展 マルチ芸術家の全貌を紹介  
朝日新聞 9月24日夕刊 アート面 評・美術  
三浦篤「絵画から衣装・写真まで越境」
- **雑誌:**  
『芸術新潮』12月号 4ページ  
『婦人画報』8月号 1ページ  
『ハルメク』8月号 2ページ  
『Oz Magazine』9月号 2ページ  
『Pen』9月15日号 1/2ページ 「超・仕事人 WHO'S WHO  
ダニエラ・フェッレットティ フォルチュニ美術館館長」

### 広報イベント

- Oz mall【トレンド体験】夜の三菱一号館美術館を貸し切ってアート×落語！  
日時：2019年8月1日  
会場：三菱一号館美術館  
講師：アマチュア落語家：寝越屋こう生(ねごしやこうしょう)氏  
参加者：約120名
- ヴェネツィアに染まる真夏の夜「5 days ナイトミュージアム」  
日時：2019年8月12日～16日  
会場：三菱一号館美術館
- 宮廷ドレスとデルフォス、麗しのヴェネツィア  
「ちょこっとドレス体験」イベント  
日時：2019年9月16日  
会場：三菱一号館美術館  
協力：宮廷ドレスメーカー『アトリエSHIONE』  
参加者：約50名

## 教育普及プログラム

### 記念シンポジウム

「万能のデザイナー、マリアノ・フォルチュニと水都ヴェネツィア」  
日時：2019年7月6日 14:00～16:30  
会場：東京商工会議所ホール&カンファレンスルーム  
(丸の内二重橋ビル5F)  
講師：陣内秀信氏(法政大学江戸東京研究センター特任教授)  
基調講演1「水都ヴェネツィアの空間史—中世・近世から近代へ—  
ダニエラ・フェッレットティ氏(フォルチュニ美術館館長)  
基調講演2「バラツォ・フォルチュニとマリアノ・フォルチュニ」  
朝倉三枝氏(フェリス学院大学准教授)  
基調講演3  
「ヴェネツィアの魔術師—マリアノ・フォルチュニとモード」  
阿佐美淑子(三菱一号館美術館 本展担当学芸員)  
展覧会説明  
パネルディスカッション  
司会進行：阿佐美淑子  
登壇者：ダニエラ・フェッレットティ氏、陣内秀信氏、朝倉三枝氏  
主催：三菱一号館美術館  
参加者：168名

### • 展覧会を語る「マリアノ・フォルチュニ 織りなすデザイン展」

日時：2019年7月10日 14:00～15:30  
会場：コンファレンススクエアエムプラス「サクセス」  
講師：阿佐美淑子(本展担当学芸員)  
参加者：96名

### • 朝のギャラリートーク

日時：2019年8月2日、8月26日 各回10:30～11:15  
会場：三菱一号館美術館展示室  
講師：阿佐美淑子(本展担当学芸員)、石神森、前田麻奈実(教育普及担当)  
参加者：24名(2回計)

### • 夕方のギャラリートーク

日時：2019年7月29日、9月4日 各回16:00～16:45  
会場：三菱一号館美術館展示室  
講師：阿佐美淑子(本展担当学芸員)、石神森、前田麻奈実(教育普及担当)  
参加者：19名(2回計)

### • 夜のギャラリートーク

日時：2019年8月23日、9月13日 各回18:30～19:15  
会場：三菱一号館美術館展示室  
講師：阿佐美淑子(本展担当学芸員)、石神森、前田麻奈実(教育普及担当)  
参加者：28名(2回計)

### • 担当学芸員によるマリアノ・フォルチュニ展の楽しみ方講座

日時：2019年7月25日、8月22日 各回10:30～10:50  
会場：三菱一号館美術館  
テーマ：7月25日「デルフォス」について  
8月22日 フォルチュニと日本  
講師：阿佐美淑子(本展担当学芸員)  
参加者：31名(2回計)

### • 担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2019年9月18日 10:30～11:30、9月25日 17:00～18:00  
会場：三菱一号館美術館展示室  
講師：阿佐美淑子(本展担当学芸員)  
参加者：23名(2回計)

### • 夏休みスペシャル こどもの創造性を高めるためのギャラリートーク & ワークショップ「テキスタイルと文様」

日時：2019年7月29日 13:00～14:30  
講師：石神森、前田麻奈実(教育普及担当)  
一部：「こどものためのギャラリートーク」  
二部：ワークショップ「オリジナル紋様のハンカチを作ろう」

### • エリア就業者&ファンのためのMarunouchi Office workers and Fan's NIGHT [MOF NIGHT]

日時：①トークイベント【ラグビーワールドカップ2019™日本大会開催記念トークイベント】  
雑誌『Pen』安藤編集長vs原田祐馬(アートディレクター)  
「明日へトライ！ラグビーとデザイン思考」  
②17:00以降の入館料が1,000円に！(1,700円⇒700円割引) 17:00～21:00 (最終入館20:30)  
③音楽イベント「夜ふかし一号館」20:30～22:30 (L.O.22:00)  
講師：①トークイベント：安藤貴之氏(『Pen』編集長)、原田祐馬氏(アートディレクター、UMA/design farm代表)  
③夜ふかし一号館：DJ 松浦俊夫  
対象・定員：大丸有リア就業者  
参加者：①34名、②70名

### • 館(やかた)ツアー

日時：2019年7月16日、8月20日、9月17日 各回10:15～11:00  
講師：石神森、前田麻奈実(教育普及担当)  
参加者：38名(3回計)

### • 夜の館(やかた)ツアー

日時：2019年8月15日 18:00～19:00  
参加者：10名

### • EDO TOKYO NIPPON アートフェス2019 開催記念 休日の「館(やかた)ツアー」

日時：2019年9月22日、23日 各日11:00～12:00  
参加者：33名(2回計)

※上記は全て三菱一号館美術館主催  
※上記肩書は全て開催当時

# マリアノ・フォルチュニ 織りなすデザイン展

## All about MARIANO FORTUNY

2019年7月6日－10月6日  
三菱一号館美術館

主催：三菱一号館美術館、毎日新聞社、フォルチュニ美術館、ヴェネツィア市立博物館群財団  
後援：イタリア大使館  
協賛：大日本印刷  
協力：アリタリア・イタリア航空

6 July — 6 October 2019  
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

Organized by: Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, The Mainichi Newspapers, Museo Fortuny, Fondazione Musei Civici di Venezia

Supported by: The Embassy of Italy in Tokyo,

Sponsored by: Dai Nippon Printing Co., Ltd.

With the cooperation of: Alitalia-Società Aerea Italiana S.p.A.

- ・展示室の温度・湿度・照度は、作品保護に関する国際基準、および所蔵者の貸出条件によって調整されています。
- ・番号は図録のキャプション番号に準じていますが、陳列の順序とは必ずしも一致していませんのでご了承ください。
- ・作家名の表記がないものは、すべてマリアノ・フォルチュニの作品です。
- ・所蔵者の表記がないものは、すべてフォルチュニ美術館の所蔵作品です。
- ・作品データは、図録番号、マリアノ・フォルチュニ以外の作家名、作品名を日英で示しました。
- ・所蔵者の意向により、以下の作品は出品されません（作品番号 2-30、3-54）。
- ・会場内での写真撮影、模写、鉛筆以外の筆記用具のご使用は特別の表記がない限りご遠慮ください。
- ・会期中展示替えを行います。作品番号に記号を付けた作品につきましては、以下の会期で出品いたします。  
○ 前期（7月6日～8月18日）のみの展示  
◎ 後期（8月20日～10月6日）のみの展示

**序章**  
マリアノ・フォルチュニ  
ヴェネツィアの魔術師  
**Prologue:**  
Mariano Fortuny:  
The Magician of Venice

**p-1**  
ヴェネツィア、サン・マルコ大聖堂内部  
Interior of the Saint Mark's  
Basilica in Venice

**p-2**  
自画像  
Self-Portrait

**p-3**  
花の習作、父マリアノ・フォルチュニ・イ・マルサル作品の模写  
Study of Flowers. Copy after the  
Father, Mariano Fortuny y Marsal

**p-4**  
《マリポーサ(蝶)》、父マリアノ・フォル  
トウニ・イ・マルサル作品の模写  
La Mariposa. Copy after the  
Father, Mariano Fortuny y Marsal

**p-5**  
マリアノ・フォルトウニ・イ・マルサル  
グラナダ、アルハンブラ宮殿の中庭  
Mariano Fortuny y Marsal  
Courtyard in the Alhambra,  
Granada

**p-6**  
マリアノ・フォルトウニ・イ・マルサル  
アラブの家  
Mariano Fortuny y Marsal  
Arab Houses

**p-7**  
マリアノ・フォルトウニ・イ・マルサル  
牧歌  
カ・ペーザロ国際近代美術館

**Mariano Fortuny y Marsal**  
Idyll  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale  
d'Arte Moderna

**p-8**  
マリアノ・フォルトウニ・イ・マルサル  
日本人の頭部

**Mariano Fortuny y Marsal**  
Head of Japanese

**p-9 [資料]**  
シャルル・モゼス  
グラナダ、アルハンブラ宮殿、「獅子の中  
庭」にいるフォルトウニ家と友人たち

**Charles Mauzaisse**  
Fortuny Family and Friends in the  
Lions Courtyard of the Alhambra  
at Granada

**p-10 [資料]**  
シャルル・モゼス  
フォルトウニ家、グラナダにて  
**Charles Mauzaisse**  
The Fortuny Family at Granada

**p-11 [資料]**  
撮影者不詳  
フォルチュニ社製プリント生地で飾りつ  
けた大広間

**Anonymous**  
A Hall Decorated with Fortuny  
Fabrics

**p-12 [資料]**  
ジャコモメリ王立写真社  
ヴェネツィア、リド島、ホテル・エクセルシ  
オールの娯楽室のフォルチュニ社製プリ  
ント生地

**Reale Fotografia Giacomelli**  
Fortuny Fabrics in the Bridge  
Room of the Excelsior Hotel at  
Lido di Venezia

**p-13**  
仮装した人々、マルティネンゴ邸にて  
People in Costume in the  
Courtyard of Palazzo Martinengo

**p-14**  
フェルディナンド・オンガーニア出版  
アルバム『路地と運河』より ペーザロ・  
オルフェイ邸 サン・ベネト広場に面した  
ファサード

**Ferdinando Ongania Editore**  
Palazzo Pesaro Orfei. Façade  
towards Campo San Beneto. From  
the Photo Album *Calli e Canali*

**p-15**  
ペーザロ・オルフェイ邸 サン・ベネト広  
場に面したファサード 2階のエブタ  
フォラ(七連アーチ)  
Palazzo Pesaro Orfei. Façade  
towards Campo San Beneto.  
Detail of the Seven Arch Windows  
at the First Floor

**p-16**  
ペーザロ・オルフェイ邸内部 主階  
Palazzo Pesaro Orfei. View of the  
First Floor

**p-17 [資料]**  
マルティネンゴ邸のテラスにいるマリアノ・  
フォルチュニ  
Mariano Fortuny on the Terrace of  
Palazzo Martinengo

**p-18 [資料]**  
セルフ・ポートレート  
Self-Portrait

**p-19**  
フェルッチョ・スカットラ  
セシリア・デ・マドラソとマリア・ルイサ・  
フォルトウニ、マルティネンゴ邸にて  
**Ferruccio Scattola**  
Cecilia de Madrazo e Maria Luisa  
Fortuny at Palazzo Martinengo

**p-20 [資料]**  
「フォルチュニ工房：遺作、美術品、骨董  
品、武具、ファイアンス焼き、イスパノ・モ  
レスク様式のテキスタイルと刺繍、東洋  
の青銅器、象牙の小箱、その他」

*Atelier de Fortuny. Œuvre posthume  
objets d'art et de curiosité, armes,  
faïences hispano-moresques  
étoffes et broderies bronzes  
orientaux, coffrets d'ivoire, etc.*

**第1章**  
絵画からの出発  
**Section I:**  
Getting Started with Painting

**1-1**  
ヴィットーレ・カルパッチョがヴェネツィ  
ア、聖女ウルスラ同信会のために制作した  
「聖女ウルスラ伝」連作より《イギリス大  
使たちの到着》の部分の模写  
*The Arrival of the Ambassadors.*  
‘The Stories of Saint Ursula’. Detail.  
Copy after Vittore Carpaccio

**1-2**  
ヤコポ・ティントレット《聖マルコの奇跡》  
の模写  
*The Miracle of Saint Mark.* Copy  
after Jacopo Tintoretto

**1-3**  
ペーテル・パウル・ルーベンス《三女神》の  
模写  
*The Three Graces.* Copy after  
Peter Paul Rubens

**1-4**  
ジャンバッティスタ・ティエポロ《無知に  
対する美德と高貴の勝利》の部分の模写  
*The Triumph of Virtue and Nobility  
over Ignorance.* Detail. Copy after  
Giambattista Tiepolo

**1-5**  
貝殻の中の海のニンフ  
*Sea Nymph in a Shell*

**1-6**  
タチアオイ  
*Hollyhocks*

## 1-7

ペーザロ・オルフェイ邸工房の壁面装飾案  
Sketch for the Mural Decoration of the Atelier at Palazzo Pesaro Orfei

## 1-8

マリアノ・フォルトゥニ・イ・マルサル  
フランシスコ・デ・ゴヤ《産後のお清めのミサ》の模写

Mariano Fortuny y Marsal  
*La misa de parida* (*The Mass of the Newborns*). Copy after Francisco de Goya

## 1-9

仏陀伝の一場面  
Scene of Buddha's Life

## 1-10

カーニヴァル  
Carnival

## 1-11

後ろ姿の裸婦  
Female Nude from the Back

## 1-12

エジプト、ナイル川からみた村と山々  
Egypt. Village and Mountains from the Nile

## 1-13

マリアノ・フォルトゥニ・イ・マルサル  
モロッコの蹄鉄工  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
Mariano Fortuny y Marsal  
Moroccan Farrier  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 1-14

マリアノ・フォルトゥニ・イ・マルサル  
マドリッド、サン・ホセ教会  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
Mariano Fortuny y Marsal  
The Saint Joseph Church in Madrid  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 1-15

ヴェネツィア、リオ（小運河）と邸館  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
Venice. *Rio and Palaces*  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 1-16

ヴィチエンツァ、ロジリア・デル・カピタニオ  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
The Lodge of Capitano in Vicenza  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 1-17

ローマ、バラティーノの丘に立つリウピアの家  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
Rome. The House of Livia on the Palatine Hill  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 1-18

ヌード、背中  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
Nude. Back  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 1-19

芍薬  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
Peonies  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 1-20

アイリスと花々  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
Iris and Flowers  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 1-21

ペーザロ・オルフェイ邸2階の内装用大判テキスタイル  
Large Furnishing Fabric at the First Floor of Palazzo Pesaro Orfei

## 1-22

ヴェントウーラ嬢 ― ジョゼファン・ペラダンの悲劇『オイディプスとスフィンクス』のための習作  
Miss Ventura. Study for the Play *Oedipus and the Sphinx* by Josephin Péladan

## 1-23 【資料】

横たわる裸婦  
Lying Nude

## 1-24 【資料】

後ろ姿の裸婦  
Nude from the Back

## 1-25 【資料】

後ろ向きに横たわる裸婦  
Lying Nude from the Back

## 1-26

ポーズするモデル  
Model Posing

## 1-27 【資料】

ペーザロ・オルフェイ邸3階のマリアノ・フォルトゥニの書斎  
The Private Library of Mariano Fortuny at the Second Floor of Palazzo Pesaro Orfei

---

## 第2章

総合芸術、オペラ  
ワーグナーへの心酔

### Section II:

An Admiration for *Gesamtkunstwerk* and Wagnerian Opera

---

## 2-1

ウィリアム・シェイクスピア『ヴェニスの商人』より シャイロックと話すアントーニオとバッサニオ  
Scene from *The Merchant of Venice* by William Shakespeare. Shylok Meets Antonio and Bassanio

## 2-2

ウィリアム・シェイクスピア『オセロ』の小姓のための習作  
Study of a Page for *The Othello* by William Shakespeare

## 2-3

スカラ座でのヨハン・シュトラウスの喜歌劇『こうもり』のリハーサル  
Rehearsal at La Scala Theater. *The Bat* by Johann Strauss

## 2-4

リヒャルト・ワーグナーのオペラ『パルジファル』より クンドリ  
Kundry from Richard Wagner's Opera *Parsifal*

## 2-5

リヒャルト・ワーグナーのオペラ『神々の黄昏』より ジークフリートとラインの乙女

Siegfried and the Rhinemaidens from Richard Wagner's Opera *The Twilight of the Gods*

## 2-6

リヒャルト・ワーグナーのオペラ『パルジファル』より 白鳥を射る準備をするパルジファル  
Parsifal Girding to Kill the Swan from Richard Wagner's Opera *Parsifal*

## 2-7

リヒャルト・ワーグナーのオペラ『ニュルンベルクのマイスタージンガー』  
*The Mastersingers of Nuremberg* from Richard Wagner's Eponymous Opera

## 2-8

リヒャルト・ワーグナーのオペラ『ワルキューレ』より 山岳風景  
Mountain Landscape from Richard Wagner's Opera *The Valkyrie*

## 2-9

リヒャルト・ワーグナーのオペラ『パルジファル』より テイトウレルの埋葬  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
The Burial of Titirel from Richard Wagner's Opera *Parsifal*  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 2-10

リヒャルト・ワーグナーのオペラ『ラインの黄金』より 宝物を盗み出すファフナー  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
Fafner Stealing the Treasure from Richard Wagner's Opera *The Rhinegold*  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 2-11

リヒャルト・ワーグナーのオペラ『ジークフリート』より 自分の剣を鍛えるミーメ  
カ・ペーザロ国際近代美術館  
Mime Forging His Blade from Richard Wagner's Opera *Siegfried*  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

## 2-12

撮影者不詳  
マリアノ・フォルトゥニと電気技師ジャケッティ、パリにて  
Anonymous  
Mariano Fortuny in Paris with the Electrician Giachetti

## 2-13

バイロイト劇場でのリヒャルト・ワーグナーのオペラ『ラインの黄金』の舞台模型  
Model of Bayreuth Theater. Stage Model for *The Rhinegold* by Richard Wagner

## 2-14 【資料】

パリのベアルン伯爵夫人私設劇場の柿落としのためのバレエ  
Ballet for the Inauguration of the Comtesse de Béarn's Private Theater in Paris

## 2-15

写真アルバム『テスピスの車』  
Photo Album "Il carro di Tespi"

## 2-16

ベルリン、クロール・オペラ劇場に設置された「クーボラ・フォルトゥニ」の金属構造  
Metal Structure of the "Cupola Fortuny" in the Kroll Theater in Berlin

## 2-17 【資料】

パリ、サン＝ジャレル通りの工場で製作された最初の「クーボラ・フォルトゥニ」  
The First "Cupola Fortuny" Built in Paris in the Laboratory on Rue Saint Charles

## 2-18

エツレ・レアール  
ローマ歌劇場でのリヒャルト・ワーグナーのオペラ『ニュルンベルクのマイスタージンガー』のための舞台美術

Ettore Reale  
Set Design for *The Mastersingers of Nuremberg* by Richard Wagner in the Opera Theater in Rome

## 2-19

撮影者不詳  
ヴェネツィア、ドゥカーレ宮殿中庭で上演されたウィリアム・シェイクスピア『オセロ』のための舞台衣装  
Anonymous  
Theater Costumes for *The Othello* by William Shakespeare in the Courtyard of Palazzo Ducale in Venice

## 2-20

ストゥディオ・ベトリ、ミラノ  
ミラノ、スフォルツァ城の『サヴォイア家の凱旋』の出演者  
Studio Petri, Milano  
Performer of *The Savoy Triumphs* at the Sforza Castle in Milan

## 2-21

ストゥディオ・ベトリ、ミラノ  
ミラノ、スフォルツァ城の『サヴォイア家の凱旋』の出演者  
Studio Petri, Milano  
Performer of *The Savoy Triumphs* at the Sforza Castle in Milan

## 2-22

ストゥディオ・ベトリ、ミラノ  
ミラノ、スフォルツァ城の『サヴォイア家の凱旋』の出演者  
Studio Petri, Milano  
Performer of *The Savoy Triumphs* at the Sforza Castle in Milan

## 2-23

ストゥディオ・ベトリ、ミラノ  
ミラノ、スフォルツァ城の『サヴォイア家の凱旋』の出演者  
Studio Petri, Milano  
Performer of *The Savoy Triumphs* at the Sforza Castle in Milan

## 2-24

フォト・ジャコモメリ・ヴェネツィア  
ヴェネツィア、ドゥカーレ宮殿中庭で上演されたウィリアム・シェイクスピア『オセロ』の観客  
Foto Giacomelli-Venezia  
Venice. The Audience of *The Othello* by William Shakespeare in the Courtyard of Palazzo Ducale

## 2-25 【資料】

ミラノ、スカラ座でのリヒャルト・ワーグナーのオペラ『トリスタンとイゾルデ』のための舞台模型  
Stage Model for the Play *Tristan and Isolde* by Richard Wagner at La Scala Theater in Milan

## 2-26 【資料】

撮影者不詳  
パリのベアルン伯爵夫人私設劇場のために制作したベルベットの緞帳の前に立つマリアノ・フォルトゥニ  
Anonymous  
Mariano Fortuny in Front of the Printed Velvet Curtain in the



Comtesse de Béarn's Private Theater in Paris

### 2-27 [資料]

舞台装置「クーポラ・フォルチュニ」構想スケッチ

Drawing for the Stage Device "Cupola Fortuny"

### 2-28 [資料]

バリ、ベアルン伯爵夫人私設劇場のための遠隔操作舞台照明装置の構想

Drawing for a Remote Control Device for the Lighting System in the Comtesse de Béarn's Private Theater in Paris

### 2-29 [資料]

バリ、ベアルン伯爵夫人私設劇場の緞帳の構想

Drawing for the Curtain of the Comtesse de Béarn's Private Theater in Paris

### 2-30

フーゴ・フォン・ホーフマンスタールの戯曲「恋の冒険者と女性歌手」のための舞台模型

Stage Model for *The Adventurer and the Singer* by Hugo von Hofmannsthal

---

## 第3章

最新の染織と服飾  
輝く絹地と異国の文様

### Section III:

The Latest Textiles and Garments:  
Shimmering Silks and Exotic Patterns

---

### 3-1

アンリエット・フォルチュニ、画家の妻  
Portrait of Henriette Fortuny, Wife of the Artist

### 3-2

バラ色の衣装のための習作  
(アンリエット・フォルチュニ)  
Study for the Pink Dress (Portrait of Henriette Fortuny)

### 3-3

ボレロのある静物  
Still Life with Bolero

### 3-4

風になびくショール  
(アンリエット・フォルチュニの肖像)  
カ・ペーザロ国際近代美術館

Shawl in the Wind (Portrait of Henriette Fortuny)  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

### 3-5

ウィリアム・シェイクスピアの「ヴェニスの商人」  
カ・ペーザロ国際近代美術館

*The Merchant of Venice* by William Shakespeare  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

### 3-6

サテンの靴  
カ・ペーザロ国際近代美術館

Satin Shoe  
Ca' Pesaro - Galleria Internazionale d'Arte Moderna

### 3-7

オーヴァーガーマント  
東京家政大学  
Over-garment  
Tokyo Kasei University

### 3-8

デルフォス(シャンパン)  
藤田真理子

Delphos  
Mariko Fujita

### 3-9

デルフォス(黒)  
京都服飾文化研究財団

Delphos  
The Kyoto Costume Institute

### 3-10

デルフォス(ピンク)  
京都服飾文化研究財団

Delphos  
The Kyoto Costume Institute

### 3-11 ○

デルフォス(白)  
島根県立石見美術館

Delphos  
Iwami Art Museum

### 3-12 ◎

デルフォス(赤)  
島根県立石見美術館

Delphos  
Iwami Art Museum

### 3-13 ◎

「タバール」チュニック  
島根県立石見美術館

Tabard Tunic  
Iwami Art Museum

### 3-14

室内着  
京都服飾文化研究財団

Dressing Gown  
The Kyoto Costume Institute

### 3-15 ○

コート  
島根県立石見美術館  
Coat  
Iwami Art Museum

### 3-16 ◎

コート  
共立女子大学博物館  
Coat  
Kyoritsu Women's University Museum

### 3-17

ドレス  
京都服飾文化研究財団  
Dress  
The Kyoto Costume Institute

### 3-18

ジャケット  
京都服飾文化研究財団  
Jacket  
The Kyoto Costume Institute

### 3-19 ○

コート  
共立女子大学博物館  
Coat  
Kyoritsu Women's University Museum

### 3-20 ◎

デルフォス(薄茶)  
共立女子大学博物館  
Delphos  
Kyoritsu Women's University Museum

### 3-21 ○

デルフォス(赤茶)  
共立女子大学博物館  
Delphos  
Kyoritsu Women's University Museum

### 3-22

デルフォス(オレンジ)  
藤田真理子

Delphos  
Mariko Fujita

### 3-23

デルフォス(黒)  
藤田真理子

Delphos  
Mariko Fujita

### 3-24

デルフォス(黒)  
藤田真理子

Delphos  
Mariko Fujita

### 3-25

コート  
藤田真理子

Coat  
Mariko Fujita

### 3-26 ○

デルフォス(青)  
共立女子大学博物館

Delphos  
Kyoritsu Women's University Museum

### 3-27 ◎

デルフォス(紫)  
共立女子大学博物館

Delphos  
Kyoritsu Women's University Museum

### 3-28

デルフォス(紫)  
神戸ファッション美術館  
Delphos  
Kobe Fashion Museum

### 3-29

オペラジャケット  
神戸ファッション美術館  
Opera Jacket  
Kobe Fashion Museum

### 3-30 ◎

ドレス  
共立女子大学博物館  
Dress  
Kyoritsu Women's University Museum

### 3-31 ◎

コプト風コート  
共立女子大学博物館  
Coptic-style Coat  
Kyoritsu Women's University Museum

### 3-32

デルフォス(セイジグリーン)  
神戸ファッション美術館  
Delphos  
Kobe Fashion Museum

### 3-33

「キモノ」ジャケット  
神戸ファッション美術館  
Kimono Jacket  
Kobe Fashion Museum

### 3-34 ○

ベルベット布地  
共立女子大学博物館  
Velvet Fabric  
Kyoritsu Women's University Museum

### 3-35

オーヴァーガーマント  
東京家政大学  
Over-garment  
Tokyo Kasei University

### 3-36

ケープ(未完成)  
Unfinished Cape

### 3-37

ブルヴィアーレ(カトリック祭式用大外衣)  
Pluviale

### 3-38

フード付きケープ  
神戸ファッション美術館  
Cape with Hood  
Kobe Fashion Museum

### 3-39 ○

ドレス  
共立女子大学博物館  
Dress  
Kyoritsu Women's University Museum

### 3-40

デルフォス(アイボリー)  
神戸ファッション美術館  
Delphos  
Kobe Fashion Museum

### 3-41

フォルチュニ工房  
テキスタイル  
Manifattura Fortuny  
Fabric

### 3-42

フォルチュニ工房  
テキスタイル  
Manifattura Fortuny  
Fabric

### 3-43

フォルチュニ工房  
テキスタイル  
Manifattura Fortuny  
Fabric

### 3-44

フォルチュニ工房  
テキスタイル  
Manifattura Fortuny  
Fabric

### 3-45

フォルチュニ工房  
テキスタイル  
Manifattura Fortuny  
Fabric

### 3-46 [資料]

テキスタイルの試し刷り  
Fabric Printing Sample

### 3-47 [資料]

テキスタイルの試し刷り  
Fabric Printing Samples

### 3-48 [資料]

テキスタイルの試し刷り  
Fabric Printing Samples

### 3-49 [資料]

テキスタイルの試し刷り  
Fabric Printing Sample

### 3-50 [資料]

テキスタイルのための下図  
Fabric Printing Design

### 3-51 [資料]

テキスタイルのための下図  
Fabric Printing Design

### 3-52 [資料]

テキスタイルのための下図  
Fabric Printing Design

### 3-53 [資料]

テキスタイルのための下図  
Fabric Printing Design

### 3-54 [資料]

衣装の模様のための下図  
Fabric Printing Design

**3-55 [資料]**  
衣裳の模様のための下図  
Fabric Printing Design

**3-56 [資料]**  
衣裳の模様のための下図  
Fabric Printing Design

**3-57 [資料]**  
テキスタイルのための下図  
Fabric Printing Design

**3-58 [資料]**  
試し刷り  
Printing Samples

**3-59 [資料]**  
試し刷り  
Printing Samples

**3-60 [資料]**  
作者不詳  
フォルチュニのデザインによる型押し  
用木型

**Anonymous**  
Fabric Printing Block, Designed  
by Mariano Fortuny

**3-61 [資料]**  
作者不詳  
フォルチュニのデザインによる型押し  
用木型

**Anonymous**  
Fabric Printing Block, Designed  
by Mariano Fortuny

**3-62 [資料]**  
作者不詳  
フォルチュニのデザインによる型押し  
用木型

**Anonymous**  
Fabric Printing Block, Designed  
by Mariano Fortuny

**3-63 [資料]**  
作者不詳  
フォルチュニのデザインによる型押し  
用木型

**Anonymous**  
Fabric Printing Block, Designed  
by Mariano Fortuny

**3-64**  
ベーザロ・オルフェイ邸 4階のテキスタイル工房  
The Textile Atelier at the Third  
Floor of Palazzo Pesaro Orfei

**3-65 [資料]**  
ベーザロ・オルフェイ邸のテキスタイル  
工房で仕事をするアンリエット  
Henriette Working in the Textile  
Atelier at Palazzo Pesaro Orfei

**3-66 [資料]**  
「デルフォス」のプロトタイプを着たア  
ンリエット  
Henriette Wearing a Prototype  
of the Delphos

**3-67**  
「デルフォス」と「クノッソス」を着たア  
ンリエット(オペラ「バルジファル」のク  
ンドリの衣装)  
Henriette Wearing a Delphos and  
a Knossos (Costume for  
Kundry)

**3-68 [資料]**  
「デルフォス」とプリントした絹のチュ  
ニックを着たアンリエット、フィレン  
ツェ  
Florence. Henriette Wearing a  
Delphos and a Printed Silk Tunic

**3-69 [資料]**  
ベーザロ・オルフェイ邸のテキスタイル  
工房の職人  
Worker in the Textile Atelier of  
Palazzo Pesaro Orfei

**3-70 [資料]**  
ベーザロ・オルフェイ邸のテキスタイル  
工房の職人たち  
Worker in the Textile Atelier of  
Palazzo Pesaro Orfei

**3-71**  
フォルトゥニ・コレクションより 古い  
テキスタイル  
Ancient Textiles of the Fortuny  
Collection

**3-72**  
フォルトゥニ・コレクションより 古い  
時代のプルヴィアーレ(カトリック祭式  
用大外衣)  
Ancient Pluviale of the Fortuny  
Collection

**3-73 [資料]**  
「デルフォス」と「クノッソス」を着けた  
モデル  
Model Wearing a Delphos and a  
Knossos

**3-74 [資料]**  
「デルフォス」と「クノッソス」を着けた  
モデル  
Model Wearing a Delphos and a  
Knossos

**3-75 [資料]**  
プリントした絹地のチュニック  
Printed Silk Tunic

**3-76 [資料]**  
プリントした絹ベルベットのドレスを  
着たモデル  
Model Wearing a Printed Silk  
Velvet Garment

**3-77 [資料]**  
プリントした絹ベルベットのマントを  
着たモデル  
Model Wearing a Printed Silk  
Velvet Garment

**3-78 [資料]**  
プリントした絹ベルベットのドレスと  
マントを着たモデル  
Model Wearing a Printed Silk  
Velvet Garment

**3-79**  
ジャコモメリ王立写真社  
ヴェネツィア、ジュデッカ島のフォル  
チュニ工場内部

**Reale Fotografia Giacomelli**  
Interior of the Fortuny Factory  
at the Giudecca Island in Venice

**3-80**  
ジャコモメリ王立写真社  
ヴェネツィア、ジュデッカ島のフォル  
チュニ工場内部

**Reale Fotografia Giacomelli**  
Interior of the Fortuny Factory  
at the Giudecca Island in Venice

**3-81**  
フォルチュニ・コレクションより 古い  
テキスタイル  
Ancient Fabric of the Fortuny  
Collection

**3-82**  
ミラノ、ガレリア・デダロでのフォル  
チュニ展  
The Fortuny Exhibition at the  
Dedalo Gallery in Milan

**3-83 [資料]**  
パリ、ピエール・シャロン通りのフォル  
チュニの店舗  
Fortuny Store on Rue Pierre  
Charron in Paris

**3-84 [資料]**  
パリ、マリニャン通りのフォルチュニの  
店舗  
Fortuny Store on Rue de  
Marignan in Paris

**3-85**  
私的な写真アルバムより ヴェネツィ  
ア、ベーザロ・オルフェイ邸のテキス  
タイル工房と職人たち  
Private Album with Photographs  
of Venice, Interiors of Palazzo  
Pesaro Orfei and Workers of the  
Textile Atelier

**3-86 [資料]**  
領収書用のカード  
Card for Receipt

**3-87 [資料]**  
ガイド・マランゴニ  
バンフレット「フォルチュニ社のプリン  
ト生地、ヴェネツィア」  
Guido Marangoni  
Brochure *Le stoffe stampate  
della Società Anonima Fortuny.*  
Venezia

**3-88 [資料]**  
フォルチュニ社  
バンフレット「ヴェネツィアのフォル  
チュニ」  
Società Anonima Fortuny  
Brochure *Fortuny of Venice*

**3-89 [資料]**  
マリアノ・フォルチュニ、ヴェネツィア  
バンフレット「フォルチュニ・ファブリッ  
クス」  
Mariano Fortuny Venice  
Brochure *Fortuny Fabrics*

**3-90 [資料]**  
アンリ・ラヴダン  
バンフレット「ヴェネツィア、フォル  
チュニ社」  
Henri Lavedan  
Brochure *Société Anonyme  
Fortuny Venice*

**3-91 [資料]**  
フォルチュニ、ヴェネツィア  
バンフレット「マリアノ・フォルチュニの  
装飾織物」  
Fortuny Venice  
Brochure *Etoffes décorées de  
Mariano Fortuny*

**3-92 [資料]**  
作者不詳  
バンフレット「ベルベットの歴史」  
Anonymous  
Brochure *L'historique du  
velours*

**3-93 [資料]**  
織機の設計図  
Drawing for Textile Machine

**3-94 [資料]**  
特許証「テキスタイル、紙、その他にプ  
リントする工程」  
Patent "Procédé d'impression  
sur tissus, papiers, etc."

**3-95 [資料]**  
特許証「船舶推進装置」  
Patent Plate "Système de  
propulsion des navires"

**3-96 [資料]**  
ステロ版  
Typographic Cliché

**3-97 [資料]**  
ステロ版  
Typographic Cliché

**3-98 [資料]**  
ステロ版  
Typographic Cliché

**3-99 [資料]**  
ステロ版  
Typographic Cliché

**3-100 [資料]**  
ステロ版  
Typographic Cliché

**3-101 [資料]**  
フォルチュニの印章  
Fortuny Stamp

**3-102 [資料]**  
ヴェネティア・ストゥディウム、ヴェネ  
ツィア

マリアノ・フォルチュニのデザインによ  
る吊りランプ「シェエラザード」(展示  
用複製)  
フォルチュニ美術館(ヴェネティア・スト  
ゥディウム)

**Venetia Studium - Venice**  
Chandelier *Sherazade*,  
Designed by Mariano Fortuny  
(museum copy)  
Museo Fortuny (Venetia Studium)

**3-103 [資料]**  
ヴェネティア・ストゥディウム、ヴェネ  
ツィア

マリアノ・フォルチュニのデザインによ  
る吊りランプ「サラセンの盾」(展示用  
複製)  
フォルチュニ美術館(ヴェネティア・スト  
ゥディウム)

**Venetia Studium - Venice**  
Chandelier *Saracen Shield*,  
Designed by Mariano Fortuny  
(museum copy)  
Museo Fortuny (Venetia Studium)

**3-104 [資料]**  
ヴェネティア・ストゥディウム、ヴェネ  
ツィア

マリアノ・フォルチュニのデザインによ  
る吊りランプ「チェゼンデッロ(ハン  
ミョウ)」(展示用複製)  
フォルチュニ美術館(ヴェネティア・スト  
ゥディウム)

**Venetia Studium - Venice**  
Lamp *Cesendello*, Designed by  
Mariano Fortuny (museum copy)  
Museo Fortuny (Venetia Studium)

**3-105 [資料]**  
カード(取扱説明書)  
京都服飾文化研究財団  
Card (Instructions)  
The Kyoto Costume Institute

**3-106 [資料]**  
箱  
京都服飾文化研究財団  
Box  
The Kyoto Costume Institute

**3-107 [特別出品] ○**  
「デルフォス」用ケース  
島根県立石見美術館  
Case for Delphos  
Iwami Art Museum

---

---

## 第4章

### 写真の探求

#### Section IV: Exploring Photography

---

---

##### 4-1

雲の習作、パリ  
Paris. Study of Clouds

##### 4-2

雲の習作、パリ  
Paris. Study of Clouds

##### 4-3

路地の眺め、ヴェネツィア  
Venice. View of a Street

##### 4-4

サン・マルコ大聖堂の内部、ヴェネツィア

Interior of the Saint Mark's  
Basilica in Venice

##### 4-5

ペーザロ・オルフェイ邸 サン・ベネト  
広場に面したファサード  
Palazzo Pesaro Orfei. Façade  
towards Campo San Beneto

##### 4-6

雲の習作、ヴェネツィア  
Venice. Study of Clouds

##### 4-7

路地の眺め、ヴェネツィア  
Venice. View of a Street

##### 4-8

リオ(小運河)の眺め、ヴェネツィア  
Venice. View of a *Rio*

##### 4-9

邸館のファサード、ヴェネツィア  
Venice. Façade of a Palace

##### 4-10

カナル・グランデのレガータ・ストリカ  
Venice. Views of the Historical  
Regatta along the Grand Canal

##### 4-11

ツィーナ・ホーエンローエ妃 広告ポス  
ターのための習作  
The Princess Zina Hohenlohe.  
Study for Advertising Poster

##### 4-12

アリナーリ兄弟社  
デルフォイの御者  
Fratelli Alinari  
The Delphi Charioteer

##### 4-13

写真アルバム「ギリシア彫刻 1-86  
巻」  
Photo Album "Sculpture Grèce  
1 - 86 vol"

##### 4-14

写真アルバム「ヴェネツィア」  
Photo Album "Venezia"

##### 4-15

写真アルバム「ギリシア」  
Photo Album "Grèce"

##### 4-16

写真アルバム「アスワンのムスキー」  
Photo Album "Mouski  
d'Assouan"

##### 4-17

「テヌータ・ディ・シルキエラ」パターの  
広告ポスター

Advertising Poster for the  
Butter *Tenuta di Sirchiera*

##### 4-18 【資料】

撮影者不詳  
写真機を持つマリアノ・フォルチュニ

**Anonymous**  
Mariano Fortuny with  
Photographic Device

---

---

## 第5章

異国、そして日本への関心と  
染織作品への応用

### Section V:

Fortuny's Interest in Foreign  
Countries and Japan, and  
Application to Textile

---

---

##### 5-1

桜藤流水模様小袖  
ヴェネツィア財団(ヴェネツィア市立博物  
館群財団寄託、モチエニコ美術館管理)

**Kosode Kimono with Cherry-  
Wisteria-and-Flowing-Water  
Pattern**

Fondazione di Venezia (in deposit at  
Fondazione Musei Civici di Venezia-  
Palazzo Mocenigo)

##### 5-2

桜花模様幕様小袖  
ヴェネツィア財団(ヴェネツィア市立博物  
館群財団寄託、モチエニコ美術館管理)

**Kosode Kimono with Cherry-  
Blossom Curtain Pattern**

Fondazione di Venezia (in deposit at  
Fondazione Musei Civici di Venezia-  
Palazzo Mocenigo)

##### 5-3

フォルチュニ工房  
テキスタイル

**Manifattura Fortuny**  
Fabric

##### 5-4

フォルチュニ工房  
テキスタイル

**Manifattura Fortuny**  
Fabric

##### 5-5 【資料】

テキスタイルの試し刷り  
Fabric Printing Sample

##### 5-6 【資料】

テキスタイルの試し刷り  
Fabric Printing Samples

##### 5-7 【資料】

テキスタイルの試し刷り  
Fabric Printing Samples

##### 5-8

撮影者不詳  
マリアノ・フォルチュニ・イ・マルサル  
のローマのアトリエ

**Anonymous**  
The Atelier of Mariano Fortuny y  
Marsal in Rome

##### 5-9 【資料】

フォルチュニ家コレクションのきもの  
姿のアリエット パリ、ベルティエ  
大通りの家にて  
Henriette Wearing a Kimono of  
the Fortuny Family Collection  
in the Paris Home on Boulevard  
Berthier

##### 5-10 【資料】

フォルチュニ家コレクションのきもの  
を着たアリエット  
Henriette Wearing a Kimono of  
the Fortuny Family Collection

##### 5-11 【資料】

テキスタイルのための下図  
Fabric Printing Design

##### 5-12 【資料】

型紙 蕨に二葉葵  
**Katagami** (Textile Stencil),  
Bracken with Wild Ginger  
Pattern

##### 5-13 【資料】

型紙 朝顔  
**Katagami** (Textile Stencil),  
Morning Glory Pattern

##### 5-14 【資料】

型紙 七宝に二葉葵  
**Katagami** (Textile Stencil),  
Cloisonne with Wild Ginger  
Pattern

##### 5-15 【資料】

型紙 立涌取り菊に牡丹  
**Katagami** (Textile Stencil),  
*Tatewaku* Design with  
Chrysanthemum and Peony  
Pattern

##### 5-16 【資料】

型紙 手綱取り松皮菱に菖蒲皮  
**Katagami** (Textile Stencil),  
Bridle  
Design with Lozenge and Iris  
Pattern

##### 5-17 【資料】

型紙 雀に案山子  
**Katagami** (Textile Stencil),  
Sparrow with Scarecrow Pattern

##### 5-18 【資料】

型紙 垣根  
**Katagami** (Textile Stencil),  
Fence Pattern

##### 5-19 【資料】

テオドール・ランペール  
『日本の型紙から採った装飾模様』  
**Théodore Lambert**  
*Motifs décoratifs tirés des  
pochoirs japonais*

##### 5-20 【資料】

ルイ・ゴンセ  
『日本美術』  
**Louis Gonse**  
*L'art japonais*

##### 5-21 【資料】

モーリス・ピラル・ヴェルヌイユ、  
ガストン・ミジョン  
『日本の布、織物と錦織』  
**Maurice Pillard Verneuil et  
Gaston Migeon**  
*Étoffes japonaises tissées &  
brochées*

##### 5-22 【資料】

ヴィットリオ・ピカ  
『ジェノヴァのキヨツソーネ博物館の  
日本美術』  
**Vittorio Pica**  
*L'arte giapponese al Museo  
Chiossone di Genova*

##### 5-23 【資料】

ガストン・ミジョン  
『17世紀から18世紀の日本の版画』  
**Gaston Migeon**  
*L'estampe japonaise du XVII au  
XVIII siècles*

##### 5-24 【資料】

アルベール・メイボン  
『日本の演劇』  
**Albert Maybon**  
*Le théâtre japonais*

##### 5-25 【資料】

アンドルー・W. テューアー  
『楽しくも奇妙なデザインの本、日本の  
型紙の芸術100点』

**Andrew W. Tuer**  
*The Book of Delightful and  
Strange Designs. [Being One  
Hundred Facsimile Illustrations of  
the Art of the Japanese Stencil-  
Cutter]*

##### 5-26 【資料】

作者不詳  
家紋帖『紋ちくさ』

**Anonymous**  
Book of Family Crests  
*Monchikusa*

##### 5-27 【資料】

繁新堂  
懐炉灰「新世界」  
**Hanshin-do**  
Poker Body Warmer *Shinsekai*

---

---

## 終章

世紀を超えるデザイン

**Epilogue:**  
“Design That Spans the  
Centuries” Today

---

---

##### 0-1

レオナルド・ダ・ヴィンチ社、ミラノ  
デスクランプ  
**Società Anonima Leonardo da  
Vinci - Milano**  
Desk Lamp, Designed by  
Mariano Fortuny

##### 0-2

レオナルド・ダ・ヴィンチ社、ミラノ  
パンフレット「フォルチュニ・ディフュー  
ジング・ランプ」  
**Società Anonima Leonardo da  
Vinci - Milano**  
Folder *Lampade a Diffusore*  
Fortuny

##### 0-3

レオナルド・ダ・ヴィンチ社、ミラノ  
パンフレット「フォルチュニ・ディフュー  
ジング・ランプ」  
**Società Anonima Leonardo da  
Vinci - Milano**  
Folder *The Fortuny Diffusing  
Lamp*

##### 0-4 【資料】

アンリエット・フォルチュニ  
ペーザロ・オルフェイ邸の書斎にいる  
マリアノ・フォルチュニ  
**Henriette Fortuny**  
Mariano Fortuny in His Private  
Library of Palazzo Pesaro Orfei

##### 0-5 【資料】

パリ、ピエール・シャロン通りのフォル  
チュニの店舗のショーウィンドウ  
The Window of the Fortuny  
Store on Rue Pierre Charron in  
Paris

##### 0-6 【資料】

フォルチュニ社  
布見本帖  
能澤慧子  
**Fortuny Inc.**  
Sample Book  
Kaiko Nohzawa

##### 0-7 【特別出品】

クリスティーズ・イースト  
売り立て目録:「ティナ・チャウのク  
チュール・コレクション、1993年9月  
21日(火) 20世紀装飾美術、1993年

9月22日(水)】

藤田真理子

Christie's East

The Couture Collection of Tina Chow, Tuesday, September 21, 1993, 20th Century Decorative Arts, Wednesday, September 22, 1993

Mariko Fujita

●-8【特別出品】

京都服飾研究文化財団

「布に魔術をかけたヴェネシスの巨人 フォルチュニイ展」

京都服飾研究文化財団

The Kyoto Costume Institute

Mariano Fortuny 1871-1949

The Kyoto Costume Institute

●-9【特別出品】

ヴェネチア・ストゥディウム、ヴェネツィア

吊りランプ「サマルカンド」

ヴェネチア・ストゥディウム

Venetia Studium - Venice

Chandelier Samarkanda

Venetia Studium Srl

●-10【特別出品】

ヴェネチア・ストゥディウム、ヴェネツィア

吊りランプ「チェゼンデッロ (ハンミョウ)」

ヴェネチア・ストゥディウム

Venetia Studium - Venice

Lamp Cesendello

Venetia Studium Srl

●-11【特別出品】

ヴェネチア・ストゥディウム、ヴェネツィア

吊りランプ「ペオニア (芍薬)」

ヴェネチア・ストゥディウム

Venetia Studium - Venice

Lamp Peonia

Venetia Studium Srl

●-12【映像資料】

フォルチュニ美術館編

ヴェネツィア、ペーザロ・オルフェイ邸内部

肖像写真

Venice, Interiors at Palazzo

Pesaro Orfei, Portraits

●-13【映像資料】

「リュミエール劇場」アルバムより

マリアノ・フォルチュニによる写真、素描、タイプ原稿

“Théâtre Lumière”. Album with

Photographs, Drawings and

Typed Notes by Mariano Fortuny

●-14【映像資料】

ヴァレンティノ、オート・クチュール、

2016年春夏コレクション

メゾン・ヴァレンティノ

Collection VALENTINO Haute

Couture Printemps/Eté 2016

Maison VALENTINO

# 会場案内図

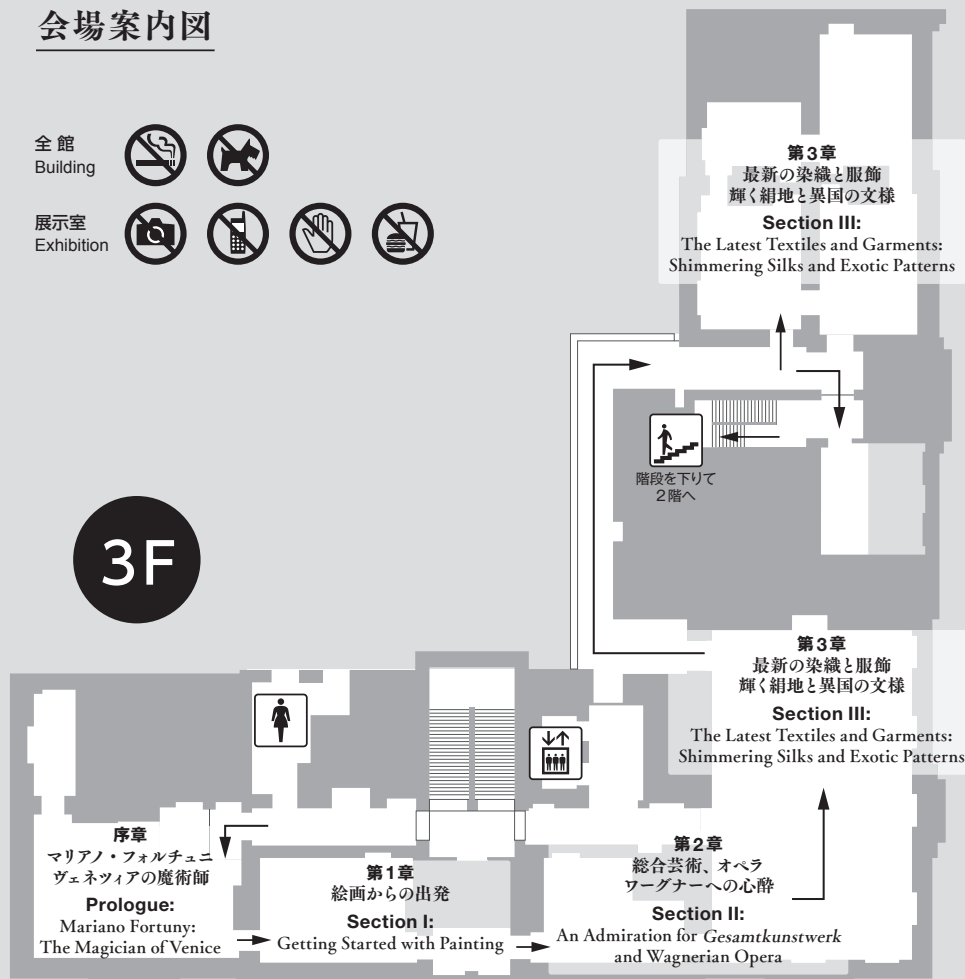
全館  
Building



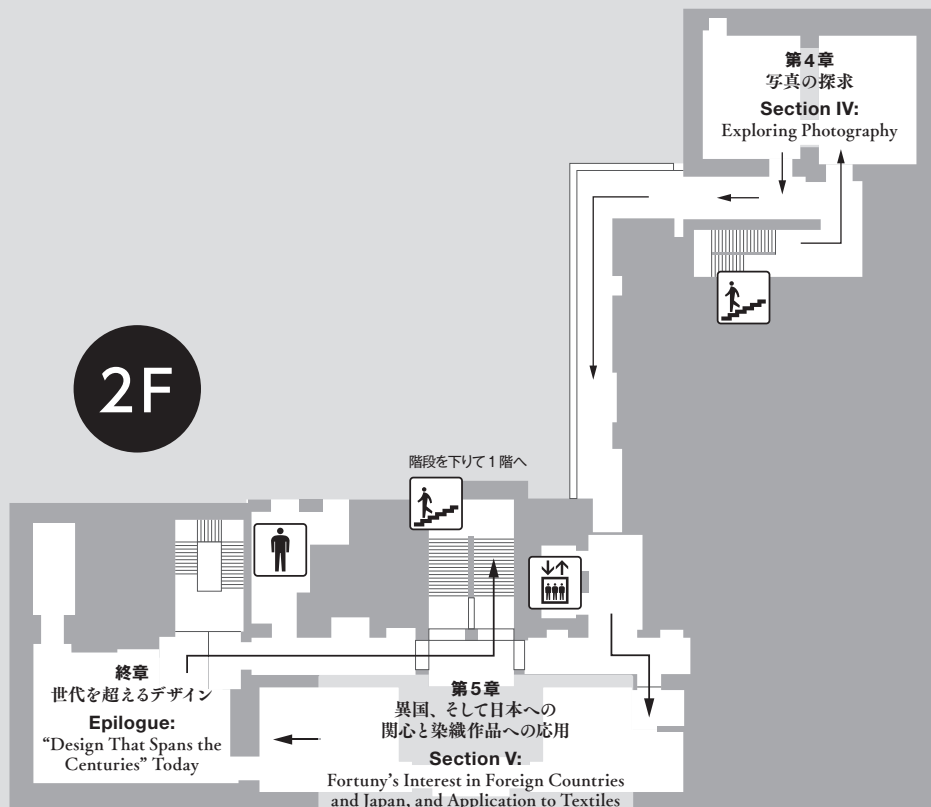
展示室  
Exhibition



## 3F



## 2F



石膏ボードを中心に建築資材メーカーとして知られる吉野石膏株式会社は、1980年代後半からフランス近代絵画の蒐集を、1991年に創業の地、山形県の山形美術館へ印象派やシャガールらの作品寄託を開始した。2008年には吉野石膏美術振興財団を設立し、学術調査や研究に加えて芸術家育成や国際交流支援にも注力している。吉野石膏コレクションは西洋近代美術の名品を数多く所蔵し、蒐集の歴史は比較的新しいものの、質量ともに国内有数である。

本展は、19世紀半ばのバルビゾン派に始まり印象派までを扱う一章、フォーヴィスムやキュビズムから抽象絵画へと至るモダン・アートの展開をみる二章、エコール・ド・パリの具象絵画を取り上げる三章構成で、西洋近代美術の変遷を72点の作品で辿る。

まず、カラーは実際の風景を理想化して描く詩的な風景画で知られる。《浅瀬を渡る山羊飼ひ、イタリアの思い出》はイタリア滞在の記憶が基となっている。バルビゾン派のミレーは労働を主題とした絵画を描き、2点を展示した。

クールベによる《ジョーの肖像、美しいアイルランド女性》は、生々しいまでの存在感を備えた優れた肖像画である。革新を志向する近代絵画の流れの中で、マネやブーダンを併せれば、これらの作家は印象派の登場を準備したといえるだろう。

続けて扱う印象派は、主題と技法の両面で絵画を刷新した。主題では都市生活やパリ近郊の自然を嗜むレジャーといった市民階級の在り方、すなわち「現代生活」が描かれた。技法では、シスレーの《モレのポプラ並木》を例に取れば、並木の葉の揺らめきが色鮮やかに描かれた、印象派の筆触分割の好例である。技法にかかる詳述は省くが、これにより明るい画面を描くことが可能となる。また、ルノワールの70年代の作品など7点、モネの《睡蓮》を含む5点、ルノワール、ドガ、カサットのパステル画3点の並びは本展のハイライトのひとつである。ピサロやシスレー、さらにポスト印象派のセザンヌ、ゴッホに至り、自然を写す印象派を乗り越えようと画家独特のヴィジョンを示す新たな流

印象派からその先へー

# 世界に誇る吉野石膏コレクション展

Impressionism and Beyond -

## Master Paintings from the Yoshino Gypsum collection

Yoshino Gypsum Co., Ltd., a well-known manufacturer of gypsum board and other construction materials, began collecting modern French paintings in the latter half of the 1980s. In 1991, it began placing Impressionist works and paintings by Chagall and others on deposit with the Yamagata Art Museum in Yamagata prefecture, where the company was founded. In 2008, it established the Yoshino Gypsum Art Foundation, focusing, in addition to scholarly research, on cultivating artists and supporting international exchanges. The Yoshino Gypsum Collection includes many masterworks of modern Western art. While its collecting history is relatively short, Yoshino Gypsum has assembled one of the finest collections, in terms of both quality and quantity, in Japan.

This exhibition was composed of three sections. The first presented works from the Barbizon school, from the mid nineteenth century, to the impressionists. The development of modern art, from Fauvism and Cubism to abstract painting, was explored in the second section, while the third section addressed representational paintings by the École de Paris. Through seventy-two works, it explored critical transitions in modern Western art.

First we have Corot, who is known for his lyrical landscape paintings, idealized views of actual landscapes. His

*Goatherds Forging a Stream, Souvenir of Italy* is based on his recollections of his time in Italy. The exhibition includes two paintings of laborers by Millet, a member of the Barbizon school. Courbet's *Portrait of Jo, the Beautiful Irish woman* is a superb portrait with a vivid sense of presence. In the innovation-oriented current of modern art, these artists, combined with Manet and Boudin, prepared the way for the rise of the Impressionists.

The Impressionists then shook up the world of painting in terms of both subjects and techniques. Their subjects included life in the city and the bourgeoisie's pursuit of leisure, enjoying nature in the outskirts of Paris: modern life. In terms of technique, in Sisley's *Row of Poplars at Moret*, the fluttering of the leaves on the trees is depicted vividly, in an excellent example of the broken brush strokes (primary colors applied in small dots or patches, to interact optically) favored by the Impressionists. The new techniques made possible creating brighter picture planes. The display of seven works that Renoir created in his seventies, five by Monet, including *Water-Lilies*, and three pastels by Renoir, Degas, and Cassatt is one of the highlights of this exhibition. From Pissarro and Sisley to the Post-Impressionists Cézanne and van Gogh: the exhibition offered glimpses of new trends expressing artists' unique visions as they sought to transcend the

れが垣間見られる。

そして、1920年代の穏やかな室内や風景を描くマティスやマルケから、ヴラマンク、ルオーらフォーヴの作家（作風はフォーヴ期とずれるが）は勿論のこと、ルソーやナビ派のボナール、ミロを経て、ピカソやブラックのキュビズム、カンディンスキーの抽象絵画へ辿り着く。ピカソは《マリー＝テレーズの肖像》もさることながら《フォンテーヌブローの風景》は舞台装置のような平面的な描写が、特異な印象を与える秀作で、貴重なパステルの署名入り完成作である。2点のカンディンスキーは「内的必然性」に従って大小さまざまな幾何学模様で絵画を構成し、ここで抽象絵画の幕開きが明瞭となる。

そのような絵画の抽象化は同時代の芸術潮流を席卷していたが、あくまで具象的な絵画にこだわり、諸外国からパリへやってきた画家たちは「エコール・ド・パリ」と呼ばれ独自の発展を目指す。ユトリロ、ヴァン・ドンゲン、ローランサン、キスリングやシャガールがこれに当たり、具象的な

画風の作品が展示された。特にシャガール10点は画業の初期から最晩年に至るまで揃う貴重なコレクションである。

本展は名古屋市立美術館、兵庫県立美術館を巡回し当館が最終会場として展示を行った。三菱一号館美術館でもまとまった形で選りすぐりの作品を展示する貴重な機会となった。

会 期：2019年10月30日(水)～2020年1月20日(月) [74日間]  
開館時間：10時～18時 (1月3日を除く金曜、会期最終週平日、最終日、第二水曜日は21時まで)

※入館は閉館の30分前まで

休 館 日：月曜休館(祝日・振替休日、1月20日、トークフリーデーは開館)

主 催：三菱一号館美術館、共同通信社

協 力：公益財団法人山形美術館

協 賛：あいおいニッセイ同和損保、大日本印刷

特別協力：吉野石膏株式会社、公益財団法人吉野石膏美術振興財団

巡 回 先：名古屋市美術館(2019年4月9日～5月26日)、兵庫県立美術館(2019年6月1日～7月21日)

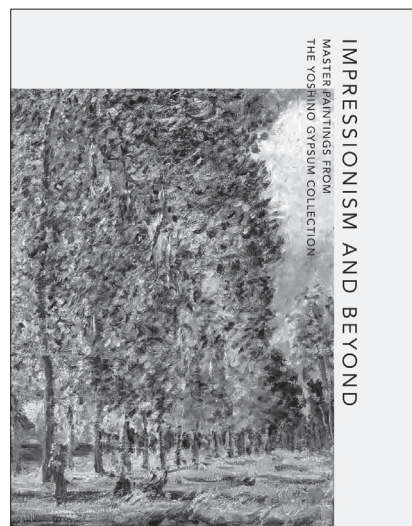
入場者数：97,699人

Impressionist presentation of nature.

Next up were Matisse and Marquet, who depicted peaceful interiors and landscapes in the 1920s, the Fauves, including Vlaminck and Rouault (although their styles were somewhat out of sync from the Fauvist period), Rousseau and Bonnard, one of the Nabis, then Miro, and on to Picasso's and Braque's Cubism and Kandinsky's abstract painting. Picasso's *Portrait of a Woman (Marie-Thérèse Walter)* and his *Landscape at Fontainebleau* present planar depictions of their subjects, almost like stage sets. The latter work creates a distinctive impression and is also rare finished work in pastel, with signature. The two paintings by Kandinsky, which he composed of various geometric motifs, large and small, following his "internal necessity," articulate the dawn of abstract painting.

While the shift to abstraction was the dominant trend in painting at that time, the emigre artists known as the École de Paris remained committed to representational painting in seeking their own distinctive approaches. Utrillo, Van Dongen, Laurencin, Kisling, and Chagall took part in developing a representational style of painting. The exhibition includes, most notably, a rare collection of ten Chagalls that address his oeuvre from his early period to the end of his life.

This exhibition traveled to the Nagoya City Art Museum and the Hyogo Prefectural Museum of Art before arriving at the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, its final stop. It was a rare opportunity to present a coherent display of such a fine selection of works en masse.





展示風景 1



展示風景 2



展示風景 3



展示風景 4



高階秀爾氏による記念講演会  
「フランス近代絵画の魅力ー吉野石膏コレクションを中心に」



開会式 撮影：Magnus Photography



担当学芸員によるレクチャー  
展覧会を語る「近代絵画のバリエーションー印象派からピカソ、シャガールまで」



広報イベント「豪華2本立て 山田五郎さんアートトーク」

## 広報活動

### 媒体掲載件数

掲載件数：453件  
T V： 4件  
ラ ジ オ： 1件  
新 聞：104件  
雑 誌： 97件  
W E B： 247件

### 主要掲載

- T V：  
BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」12月3日O.A.  
テレビ東京「なないろ日和」12月4日O.A.
- 新 聞：  
産経新聞 11月3日朝刊 文化面  
読売新聞 12月12日夕刊 文化面
- 雑 誌：  
『時空旅人別冊・大人が観たい印象派』8月9日発行 4ページ  
『時空旅人別冊・必ず観たい注目の美術展 2019-2020』  
9月13日発行 7ページ  
『クロワッサン』11月25日号 2ページ  
『日経おとなのOFF』1月号 5ページ

### 広報イベント

- 豪華2本立て 山田五郎さんアートトーク“世界に誇る吉野石膏コレクション” 山田五郎さんに聞く！アートの楽しみ方あるある  
日 時：2019年11月12日 19:00~20:30  
会 場：日本工業倶楽部  
講 師：山田五郎氏(編集者・評論家)、岩瀬慧(第2部モデレーター、三菱一号館美術館 本展担当学芸員)  
参加者：204名
- 1122の日ペア割  
日 時：2019年11月22日  
会 場：三菱一号館美術館内  
利用者：46名
- オランジュリー美術館コレクション×吉野石膏コレクション担当学芸員クロストーク  
日 時：2019年12月23日 14:00~15:30  
会 場：横浜美術館レクチャーホール  
講 師：片多祐子氏(横浜美術館学芸員)、岩瀬慧(三菱一号館美術館 本展担当学芸員)  
参加者：107名
- 冬休み・びじゅつかんデビューキャンペーン  
日 時：2019年12月25日~1月5日  
会 場：三菱一号館美術館内  
利用者：227名

## 教育普及プログラム

- 記念講演会  
「フランス近代絵画の魅力ー吉野石膏コレクションを中心に」  
日 時：2019年10月31日 14:00~15:30  
会 場：コンファレンススクエアエムプラス「サクセス」  
講 師：高階秀爾氏(大原美術館館長)  
参加者：164名
- 展覧会を語る  
「近代絵画のバリエーションー印象派からピカソ、シャガールまで」  
日 時：2019年11月7日 14:00~15:30  
会 場：コンファレンススクエアエムプラス「サクセス」  
講 師：岩瀬慧(本展担当学芸員)  
参加者：103名
- 朝のギャラリートーク  
日 時：2019年11月13日、11月20日 各回10:30~11:15  
会 場：三菱一号館美術館 展示室  
講 師：佐藤菜々子(公益財団法人吉野石膏美術振興財団 学芸員)、岩瀬慧(本展担当学芸員)  
参加者：30名(2回計)
- 夕方のギャラリートーク  
日 時：2019年11月15日、11月29日 各回16:00~16:45  
会 場：三菱一号館美術館 展示室  
講 師：佐藤菜々子(公益財団法人吉野石膏美術振興財団 学芸員)、岩瀬慧(本展担当学芸員)  
参加者：28名(2回計)
- 夜のギャラリートーク  
日 時：2019年11月22日、12月13日 各回18:30~19:15  
会 場：三菱一号館美術館 展示室  
講 師：野口玲一(当館学芸員)、石神森(教育普及担当)  
参加者：24名(2回計)
- クリスマス・イブに贈る、担当学芸員によるギャラリートーク  
日 時：2019年12月24日 16:00~16:20  
会 場：三菱一号館美術館 展示室  
講 師：岩瀬慧(本展担当学芸員)  
参加者：のべ60名
- エリア就業者&ファンのためのMarunouchi Office workers and Fan's NIGHT [MOF NIGHT]  
日 時：①1129の日アート交流会：肉盛りプレートと食べながらアート談話「アートの知識がなくても楽しめる、楽しいから知りたくなる」19:00~20:00 ②17:00以降の入館料が1,000円に！(1,700円⇒700円割引)17:00~21:00(最終入館20:30) ③美術史良いところどりギャラリートーク 19:00~19:45 ④音楽イベント：夜ふかし一号館・ヨーヨーパフォーマンス 20:15~20:30 ・DJによる音楽イベント 20:30~22:00(L.O.22:00)  
会 場：三菱一号館美術館 Café1894  
講 師：①アート交流会：深津優希氏(アートナビゲーター)③ギャラリートーク：岩瀬慧④ヨーヨーパフォーマンス：スズキヒロユキ氏、DJ：青野賢一氏  
対 象：大丸有エリア就業者
- 館(やかた)ツアー  
日 時：2019年11月19日、12月17日  
会 場：三菱一号館美術館  
講 師：野口玲一(当館学芸員)、石神森(教育普及担当)  
参加者：各回15名

※上記は全て三菱一号館美術館主催  
※上記肩書は全て開催当時



# 印象派からその先へ

——世界に誇る吉野石膏コレクション

## IMPRESSIONISM AND BEYOND MASTER PAINTINGS FROM THE YOSHINO GYPSUM COLLECTION



アルフレッド・シスレー《モレのボブラ並木》部分

### 作品目録 | List of Works

2019年10月30日(水)～2020年1月20日(月)  
三菱一号館美術館

主催：三菱一号館美術館、共同通信社  
特別協力：吉野石膏株式会社、公益財団法人吉野石膏美術振興財団  
協力：公益財団法人山形美術館  
協賛：あいおいニッセイ同和損保、大日本印刷

October 30 (Wed.), 2019 – January 20 (Mon.), 2020  
Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo

Organized by : Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo and Kyodo News  
With special cooperation of : Yoshino Gypsum Co., Ltd.  
Yoshino Gypsum Art Foundation  
With cooperation of : Yamagata Museum of Art  
With sponsorship of : Aioi Nissay Dowa Insurance Co., Ltd.  
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

・展示室の温度・湿度・照度は、作品保護に関する国際基準、および所蔵者の貸し出し条件によって調整されています。  
・番号は図録のキャプション番号に準じていますが、陳列の順番とは必ずしも一致しませんのでご了承ください。  
・会場内での写真撮影、模写、鉛筆以外の筆記用具のご使用はご遠慮ください。

#### 1章

### 印象派、誕生 ～革新へと向かう絵画～

The Birth of Impressionism:  
Painting Heading towards Innovation

#### 1

ジャン=バティスト・カミーユ・コロー  
牧場の休息地、農婦と三頭の雌牛  
1870-74年  
油彩/カンヴァス  
46.0×38.0 cm

Jean-Baptiste Camille Corot  
Resting Place in the Meadow,  
Peasant Woman and Three Cows  
1870-74  
Oil on canvas  
46.0×38.0 cm

#### 2

ジャン=バティスト・カミーユ・コロー  
浅瀬を渡る山羊飼、イタリアの思い出  
1872年頃

油彩/カンヴァス  
51.6×39.8 cm

Jean-Baptiste Camille Corot  
Goatherd Fording a Stream,  
Souvenir of Italy  
c.1872  
Oil on canvas  
51.6×39.8 cm

#### 3

ジャン=フランソワ・ミレー  
群れを連れ帰る羊飼  
1860-65年  
油彩、パステル、インク、黒コンテ/カンヴァス  
46.5×56.0 cm

Jean-François Millet  
Shepherd Returning with His  
Flock  
1860-65  
Oil, pastel, ink, black conté crayon on  
canvas  
46.5×56.0 cm

#### 4

ジャン=フランソワ・ミレー  
バター作りの女  
1870年  
油彩/カンヴァス  
98.4×62.2 cm  
Jean-François Millet  
Woman Churning Butter  
1870  
Oil on canvas  
98.4×62.2 cm

#### 5

ギュスターヴ・クールベ  
ジョーの肖像、美しいアイルランド女  
性  
1872年頃  
油彩/カンヴァス  
54.0×64.0 cm  
Gustave Courbet  
Portrait of Jo, the Beautiful Irish  
Woman  
c.1872  
Oil on canvas  
54.0×64.0 cm

#### 6

エドゥアール・マネ  
イザベル・ルモニエ嬢の肖像  
1879年頃  
油彩/カンヴァス  
99.3×75.6 cm  
Édouard Manet  
Portrait of Mademoiselle Isabelle  
Lemonnier  
c.1879  
Oil on canvas  
99.3×75.6 cm

#### 7

ウジェーヌ=ルイ・ブーダン  
アブヴィル近くのソム川  
1890-94年頃  
油彩/カンヴァス  
61.0×50.0 cm  
Eugène-Louis Boudin  
Somme River near Abbeville  
c.1890-94  
Oil on canvas  
61.0×50.0 cm

#### 8

クロード・モネ  
ヴェトウイユ、サン=マルタン島からの  
眺め  
1880年  
油彩/カンヴァス  
60.4×79.4 cm  
Claude Monet  
Vétheuil Seen from Ile Saint  
Martin  
1880  
Oil on canvas  
60.4×79.4 cm

#### 9

クロード・モネ  
サン=ジェルマンの森の中で  
1882年  
油彩/カンヴァス  
81.0×65.0 cm  
Claude Monet  
Undergrowth in Saint-Germain  
Forest  
1882  
Oil on canvas  
81.0×65.0 cm

#### 10

クロード・モネ  
ヴェルノンの教会の眺め  
1883年  
油彩/カンヴァス  
65.0×81.0 cm  
Claude Monet  
View of the Church at Vernon  
1883  
Oil on canvas  
65.0×81.0 cm

#### 11

クロード・モネ  
テムズ河のチャリング・クロス橋  
1903年  
油彩/カンヴァス  
73.0×100.0 cm  
Claude Monet  
Charing Cross Bridge, The Thames  
1903  
Oil on canvas  
73.0×100.0 cm

#### 12

クロード・モネ  
睡蓮  
1906年  
油彩/カンヴァス  
81.0×92.0 cm  
Claude Monet  
Water-Lilies  
1906  
Oil on canvas  
81.0×92.0 cm

#### 13

アルフレッド・シスレー  
マントからショワジール=ロワへの道  
1872年  
油彩/カンヴァス  
46.0×56.0 cm  
Alfred Sisley  
Road from Mantes to Choisy-le-  
Roi  
1872  
Oil on canvas  
46.0×56.0 cm

#### 14

アルフレッド・シスレー  
モレに続く道  
1882年  
油彩/カンヴァス  
54.0×73.0 cm  
Alfred Sisley  
On the Road to Moret  
1882  
Oil on canvas  
54.0×73.0 cm

#### 15

アルフレッド・シスレー  
モレ=シュル=ロワン、朝の光  
1888年  
油彩/カンヴァス  
60.0×73.0 cm  
Alfred Sisley  
Moret-sur-Loing, Morning Sun  
1888  
Oil on canvas  
60.0×73.0 cm

## 16

アルフレッド・シスレー  
モレのポプラ並木

1888年  
油彩/カンヴァス  
54.0×73.0 cm

Alfred Sisley  
Row of Poplars at Moret

1888  
Oil on canvas  
54.0×73.0 cm

## 17

アルフレッド・シスレー  
モレのロワン川、洗濯船

1890年  
油彩/カンヴァス  
54.0×65.0 cm

Alfred Sisley  
Loing River at Moret, Laundry Boat

1890  
Oil on canvas  
54.0×65.0 cm

## 18

アルフレッド・シスレー  
ロワン川沿いの小屋、夕べ

1896年  
油彩/カンヴァス  
65.0×81.0 cm

Alfred Sisley  
Cabins on the Riverside of the Loing, Evening

1896  
Oil on canvas  
65.0×81.0 cm

## 19

ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
森の散歩道（ル・クール夫人とその子  
供たち）

1870年  
油彩/カンヴァス  
41.0×32.5 cm

Pierre-Auguste Renoir  
Promenade in the Woods  
(Madame Le Cœur and Her Children)

1870  
Oil on canvas  
41.0×32.5 cm

## 20

ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
桃のある静物

1871年  
油彩/カンヴァス  
24.5×32.5 cm

Pierre-Auguste Renoir  
Still Life with Peaches

1871  
Oil on canvas  
24.5×32.5 cm

## 21

ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
庭で犬を膝にのせて読書する少女

1874年  
油彩/カンヴァス  
61.0×48.5 cm

Pierre-Auguste Renoir  
Young Girl Reading in the Garden with a Dog on Her Lap

1874  
Oil on canvas  
61.0×48.5 cm

## 22

ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
シュザンヌ・アダン嬢の肖像

1887年  
パステル/紙  
61.0×49.2 cm

Pierre-Auguste Renoir

Portrait of Mademoiselle Suzanne Adam

1887  
Pastel on paper  
61.0×49.2 cm

## 23

ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
箒をもつ女

1889年  
油彩/カンヴァス  
65.0×46.0 cm

Pierre-Auguste Renoir  
Woman with a Broom

1889  
Oil on canvas  
65.0×46.0 cm

## 24

ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
幼年期（ジャック・ガリマルの肖像）

1891年  
油彩/カンヴァス  
64.0×50.3 cm

Pierre-Auguste Renoir  
Childhood (Portrait of Jacques Gallimard)

1891  
Oil on canvas  
64.0×50.3 cm

## 25

ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
赤いブラウスを着た花帽子の女

1914年  
油彩/カンヴァス  
46.0×38.0 cm

Pierre-Auguste Renoir  
Woman in Red Blouse and a Flower Decorated Hat

1914  
Oil on canvas  
46.0×38.0 cm

## 26

エドガー・ドガ  
踊り子たち（ピンクと緑）

1894年  
パステル/紙  
70.9×49.0 cm

Edgar Degas  
Dancers (Rose and Green)

1894  
Pastel on paper  
70.9×49.0 cm

## 27

メアリー・カサット  
マリー＝ルイズ・デュラン＝リュエルの  
肖像

1911年  
パステル/紙  
76.7×64.0 cm

Mary Cassatt  
Portrait of Marie-Louise Durand-Ruel

1911  
Pastel on paper  
76.7×64.0 cm

## 28

カミーユ・ピサロ  
モンファーコーの冬の池、雪の効果

1875年  
油彩/カンヴァス  
114.3×109.9 cm

Camille Pissarro  
The Pond at Montfoucault in Winter, Effect of Snow

1875  
Oil on canvas  
114.3×109.9 cm

## 29

カミーユ・ピサロ  
ポントワーズの橋

1878年  
油彩/カンヴァス  
60.5×73.0 cm

Camille Pissarro  
Pontoise Bridge

1878  
Oil on canvas  
60.5×73.0 cm

## 30

カミーユ・ピサロ  
ポントワーズのル・シユ

1882年  
油彩/カンヴァス  
73.0×92.0 cm

Camille Pissarro  
Le Chou at Pontoise

1882  
Oil on canvas  
73.0×92.0 cm

## 31

カミーユ・ピサロ  
暖をとる農婦

1883年  
油彩/カンヴァス  
73.2×60.0 cm

Camille Pissarro  
Peasant Girl Warming Herself by a Hearth

1883  
Oil on canvas  
73.2×60.0 cm

## 32

カミーユ・ピサロ  
ロンドンのキューガーデン、大温室前  
の散歩道

1892年  
油彩/カンヴァス  
54.0×65.0 cm

Camille Pissarro  
Kew Gardens, London, the Path to the Large Glass House

1892  
Oil on canvas  
54.0×65.0 cm

## 33

カミーユ・ピサロ  
ルーアンのエビスリー通り、朝、雨模様

1898年  
油彩/カンヴァス  
81.0×65.0 cm

Camille Pissarro  
Rue de l'Épicerie in Rouen, Morning, Rainy Weather

1898  
Oil on canvas  
81.0×65.0 cm

## 34

ポール・セザンヌ  
マルセイユ湾、レスタック近郊のサン  
タンリ村を望む

1877-79年  
油彩/カンヴァス  
64.5×80.2 cm

Paul Cézanne  
Bay of Marseille, View of Saint-Henri Village near L'Estaque

1877-79  
Oil on canvas  
64.5×80.2 cm

## 35

フィンセント・ファン・ゴッホ  
雪原で薪を運ぶ人々

1884年  
油彩/カンヴァス(板に貼付)  
67.0×126.0 cm

Vincent van Gogh  
Wood Gatherers in the Snow

1884  
Oil on canvas mounted on panel  
67.0×126.0 cm

## 36

フィンセント・ファン・ゴッホ  
静物、白い花瓶のバラ

1886年  
油彩/カンヴァス  
37.0×25.5 cm

Vincent van Gogh  
Still Life: White Vase with Roses and Other Flowers

1886  
Oil on canvas  
37.0×25.5 cm

## 2章

フォーヴから抽象へ  
～モダン・アートの諸相～

From Fauvism to Abstract Art: Aspects of Modern Art

## 37

ジョルジュ・ルオー  
法官たち

1908年  
油彩/紙(カンヴァスで裏打)  
77.5×56.5 cm

Georges Rouault  
Judges

1908  
Oil on paper mounted on canvas  
77.5×56.5 cm

## 38

ジョルジュ・ルオー  
古い師

1937-39年  
油彩/厚紙  
47.0×38.0 cm

Georges Rouault  
Soothsayer

1937-39  
Oil on cardboard  
47.0×38.0 cm

## 39

ジョルジュ・ルオー  
バラの髪飾りの女

1939年  
油彩/紙(カンヴァスで裏打)  
71.0×61.0 cm

Georges Rouault  
Woman with Roses on Her Hair

1939  
Oil on paper mounted on canvas  
71.0×61.0 cm

## 40

ピエール・ボナール  
靴下をはく若い女

1908-10年  
油彩/カンヴァス  
53.0×63.0 cm

Pierre Bonnard  
Young Woman Putting on Her Stockings

1908-10  
Oil on canvas  
53.0×63.0 cm

## 41

アンリ・マティス  
緑と白のストライプのブラウスを着た  
読書する若い女

1924年  
油彩/カンヴァス  
55.0×38.5 cm

Henri Matisse  
Young Woman Reading in a Green and White Striped Blouse

1924  
Oil on canvas  
55.0×38.5 cm

**42**

アンリ・マティス  
静物、花とコーヒーカップ

1924年  
油彩/カンヴァス  
61.6×50.8 cm

Henri Matisse  
Still Life with Flowers and a  
Coffee Cup

1924  
Oil on canvas  
61.6×50.8 cm

**43**

アルベール・マルケ  
コンフラン=サントノリーの川船

1911年  
油彩/カンヴァス  
65.5×81.0 cm

Albert Marquet  
Riverboat at Conflans-Sainte-  
Honorine

1911  
Oil on canvas  
65.5×81.0 cm

**44**

アルベール・マルケ  
ロルボワーズ

制作年不詳  
油彩/カンヴァス  
50.0×61.0 cm

Albert Marquet  
Rolleboise

Oil on canvas  
50.0×61.0 cm

**45**

モーリス・ド・ヴラマンク  
セーヌ河の岸辺

1906年頃  
油彩/カンヴァス  
50.5×65.5 cm

Maurice de Vlaminck  
Riverside of the Seine

c.1906  
Oil on canvas  
50.5×65.5 cm

**46**

モーリス・ド・ヴラマンク  
大きな花瓶の花

1905-06年  
油彩/カンヴァス  
104.3×52.5 cm

Maurice de Vlaminck  
Large Vase of Flowers

1905-06  
Oil on canvas  
104.3×52.5 cm

**47**

モーリス・ド・ヴラマンク  
花瓶の花

1909年  
油彩/カンヴァス  
73.0×59.5 cm

Maurice de Vlaminck  
Vase of Flowers

1909  
Oil on canvas  
73.0×59.5 cm

**48**

モーリス・ド・ヴラマンク  
村はずれの橋

1911年  
油彩/カンヴァス  
81.0×100.0 cm

Maurice de Vlaminck  
Bridge on the Skirts of the  
Village

1911  
Oil on canvas  
81.0×100.0 cm

**49**

アンリ・ルソー  
工場のある町

1905年  
油彩/カンヴァス  
46.0×55.0 cm

Henri Rousseau  
Town with a Factory

1905  
Oil on canvas  
46.0×55.0 cm

**50**

ジョルジュ・ブラック  
洋梨のある静物(テーブル)

1918年  
油彩/カンヴァス  
65.5×79.3 cm

Georges Braque  
Still-Life with Pears (The Table)

1918  
Oil on canvas  
65.5×79.3 cm

**51**

ジョアン・ミロ  
シウラナ村

1917年  
油彩/カンヴァス  
51.0×62.0 cm

Joan Miró  
Siurana

1917  
Oil on canvas  
51.0×62.0 cm

**52**

パブロ・ピカソ  
フォンテーヌブローの風景

1921年  
パステル/紙  
50.0×65.0 cm

Pablo Picasso  
Landscape at Fontainebleau

1921  
Pastel on paper  
50.0×65.0 cm

**53**

パブロ・ピカソ  
女の肖像(マリー=テレーズ・ワルテル)

1937年  
油彩/カンヴァス  
46.0×38.0 cm

Pablo Picasso  
Portrait of a Woman (Marie-  
Thérèse Walter)

1937  
Oil on canvas  
46.0×38.0 cm

**54**

パブロ・ピカソ  
帽子をかぶった女

1939年  
油彩/カンヴァス  
65.0×50.0 cm

Pablo Picasso  
Woman with a Hat

1939  
Oil on canvas  
65.0×50.0 cm

**55**

ワシリー・カンディンスキー  
結びつける緑

1926年  
油彩/カンヴァス  
84.0×57.5 cm

Wassily Kandinsky  
Connecting Green

1926  
Oil on canvas  
84.0×57.5 cm

**56**

ワシリー・カンディンスキー  
適度なヴァリエーション

1941年  
油彩/カードボード  
70.0×70.0 cm

Wassily Kandinsky  
Moderate Variation

1941  
Oil on cardboard  
70.0×70.0 cm

**62**

モイズ・キスリング  
背中を向けた裸婦

1949年  
油彩/カンヴァス  
73.5×54.5 cm

Moise Kisling  
Nude from the Back

1949  
Oil on canvas  
73.5×54.5 cm

**63**

マルク・シャガール  
パイプを持つ男

1910年頃  
油彩/カンヴァス  
61.0×38.0 cm

Marc Chagall  
Man with a Pipe

c.1910  
Oil on canvas  
61.0×38.0 cm

**64**

マルク・シャガール  
逆さ世界のヴァイオリン弾き

1929年  
油彩/カンヴァス  
92.7×73.0 cm

Marc Chagall  
Violinist in an Upside-down World

1929  
Oil on canvas  
92.7×73.0 cm

**65**

マルク・シャガール  
バラ色の肘掛椅子

1930年  
油彩/カンヴァス  
72.4×59.5 cm

Marc Chagall  
Rose Armchair

1930  
Oil on canvas  
72.4×59.5 cm

**66**

マルク・シャガール  
恋人たちと花束

1935-36年  
油彩、テンペラ/カンヴァス  
55.0×38.0 cm

Marc Chagall  
Lovers with a Bouquet

1935-36  
Oil and tempera on canvas  
55.0×38.0 cm

**67**

マルク・シャガール  
夢

1939-44年  
油彩/カンヴァス  
78.7×78.1 cm

Marc Chagall  
The Dream

1939-44  
Oil on canvas  
78.7×78.1 cm

**68**

マルク・シャガール  
モンマルトルの恋人たち

1953年  
油彩/カンヴァス  
80.3×72.4 cm

Marc Chagall  
Lovers in Montmartre

1953  
Oil on canvas  
80.3×72.4 cm

**3章****エコール・ド・パリ**

～前衛と伝統のはざままで～

L'École de Paris:  
Between Avant-garde and Tradition

**57**

モーリス・ユトリロ  
モンマルトルのミュレ通り

1911年頃  
油彩/厚紙  
81.0×60.0 cm

Maurice Utrillo  
Rue Muller in Montmartre

c.1911  
Oil on cardboard  
81.0×60.0 cm

**58**

モーリス・ユトリロ  
サン=ベルナル(アン県)の家並

1929年  
油彩/カンヴァス  
60.0×73.0 cm

Maurice Utrillo  
Houses in Saint-Bernard (Ain)

1929  
Oil on canvas  
60.0×73.0 cm

**59**

マリー・ローランサン  
五人の奏者

1935年  
油彩/カンヴァス  
81.0×100.0 cm

Marie Laurencin  
Five Musicians

1935  
Oil on canvas  
81.0×100.0 cm

**60**

マリー・ローランサン  
羽扇をもつ女

1937年  
油彩/カンヴァス  
60.0×50.0 cm

Marie Laurencin  
Woman with a Feathered  
Folding Fan

1937  
Oil on canvas  
60.0×50.0 cm

**61**

キース・ヴァン・ドンゲン  
座る子供

1925年  
油彩/カンヴァス  
100.0×80.0 cm

Kees van Dongen  
Seated Child

1925  
Oil on canvas  
100.0×80.0 cm

69

マルク・シャガール  
サント=シャペル  
1953年  
油彩/カンヴァス  
100.0×81.0 cm

Marc Chagall  
La Sainte-Chapelle  
1953  
Oil on canvas  
100.0×81.0 cm

70

マルク・シャガール  
天使と恋人たち  
1956年  
油彩/カンヴァス  
150.0×119.5 cm

Marc Chagall  
Lovers with an Angel  
1956  
Oil on canvas  
150.0×119.5 cm

71

マルク・シャガール  
翼のある馬  
1962年  
油彩/カンヴァス  
115.3×80.7 cm

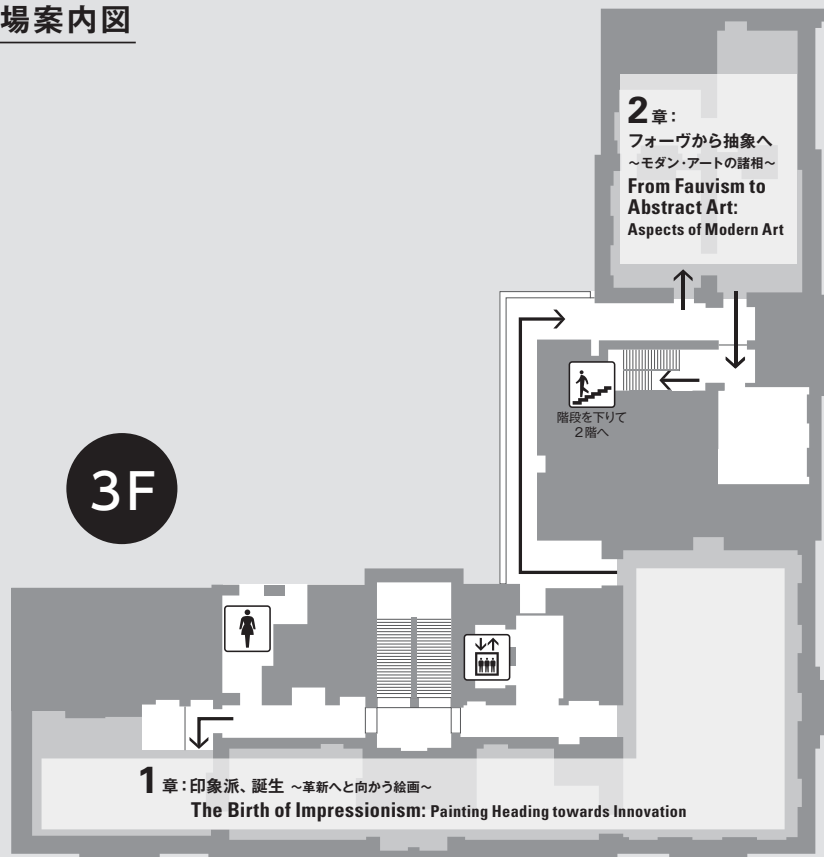
Marc Chagall  
Winged Horse  
1962  
Oil on canvas  
115.3×80.7 cm

72

マルク・シャガール  
グランド・パレード  
1979年  
油彩/カンヴァス  
120.0×132.0 cm

Marc Chagall  
Grand Parade  
1979  
Oil on canvas  
120.0×132.0 cm

## 会場案内図



全館  
Building



展示室  
Exhibition



## 三菱一号館美術館の教育普及活動

### 理念

- ・美術に親しみ、美術への理解を深める。
- ・本物の作品と直接触れる機会を促し、感性を高める。
- ・美術の鑑賞を通じて、考える機会を大切に、創造力や生きる力を育む。

### 特色

- ・街に開かれた美術館として、誰もが参加・アクセスできる多面的な活動を展開する。
- ・館内におけるプログラムにとどまらず、館外でも活動を展開する。
- ・丸の内の歴史、建築空間、展示作品など、三菱一号館美術館の魅力や特性を引き出し、鑑賞者の美術館体験を深める。

### 当館の教育普及プログラム

当館では「都市生活の中心としての美術館」として、街や人に開かれた美術館活動を目指しています。

### 街で働く人々に向けた活動

オフィス街・丸の内にある美術館として、街で働く人々にも、もっと美術館を利用してほしい。そのような思いから、近隣のオフィスワーカーが美術・アートに触れ合い、美術館を身近に感じられるような活動を行っています。

### ❖ トークイベント 都市と美術館「美術館で出会う、アートとビジネス」

当館では「都市生活の中心としての美術館」という運営ミッションの元、「都市と美術館」というテーマで、当館開館5周年の2015年から継続してレクチャーを開催しています。



レクチャーの様子

今回は「都市生活者であるビジネスパーソン」に提言する内容として、「アートとビジネス」を主題として実施しました。

日時：2019年9月11日 18：30～20：30

会場：日本工業倶楽部

(東京都千代田区丸の内1丁目4-6)

## Education Programs

### Philosophy

- ・ Increase familiarity with and deepen appreciation of art.
- ・ Provide opportunities for first hand contact with works of art, heightening sensibilities.
- ・ Through appreciation of art, value opportunities to think and foster creativity and élan vital.

### Distinctive Features

- ・ As a museum open to the community, offer multifaceted activities for all to participate and access.
- ・ Provide programs both within and out of the museum.
- ・ Providing visitors with a profound museum experience that draws out the appeal of the Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo through history of Marunouchi, architecture and exhibited artworks.

### 登壇者：

奥村高明氏 (日本体育大学児童スポーツ教育学部教授)

木越 純氏

(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ東京支店副会長)

上坂真人氏 (株式会社アマナプランニング 担当執行役員)

モデレーター：野口玲一 (三菱一号館美術館学芸員)

### ❖ Marunouchi Office workers and Fan's NIGHT [MOFナイト]



1129の日アート交流会

トークイベントや音楽イベントなどを金曜日の夜に開催し、夜の時間を美術館で過ごしてもらうためのイベント。展覧会鑑賞のあとは、当館のカフェを会場とし、お酒やフードと一緒に音楽を楽しむイベントなど、バラエティに富んだ内容で開催しています。



DJ：松浦俊夫氏

※詳細は9、21、31頁参照

## 建物の魅力を紹介する活動

明治27(1894)年に建てられた丸の内初のオフィスビル「三菱一号館」を復元した、当館の建物の魅力を紹介する活動を行っています。

### ◆館(やかた) ツアー

当館の建物の歴史や復元のみどころを、普段は非公開の地下部分などを含め、ご案内するツアーを開催しています。毎月第三火曜日に実施。



館ツアーの様子

## MSS (三菱一号館美術館サポーター制度)

「MSS」(三菱一号館美術館サポーター制度)は、三菱一号館美術館の活動を支援し、芸術文化を盛り上げていくことを目的としています。サポーターの皆さまは、当館をご支援いただき、さまざまな特典を受けることができます。



MSSカード

ご本人とご同伴者1名が1年間何度でもご入館可能な「MSS」とご本人のみがご利用いただける「MSS-mini」を販売しております。さまざまなライフスタイルのお客様が、例えばランチタイムや仕事帰りのリフレッシュ、お気に入りの作品を何度もご覧になるなど、多様化する働き方やそれぞれの生活のシーンに合わせてご利用いただいております。また、ギフトとしてもご利用いただけますので、大切な方にアートの時間をプレゼントすることもできます。特典の詳細は当館WEBサイトをご覧ください。 <https://mimt.jp/mss/>



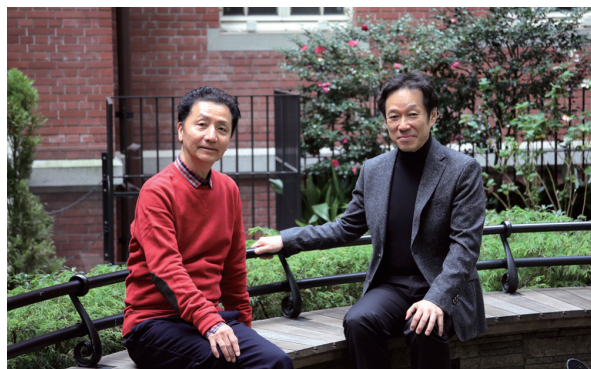
MSS-miniカード

### MSS特典について

- ・サポーターカード提示でご本人と同伴者1名が無料。(何度でも利用可能。MSS-miniはご本人のみ)
- ・サポーター限定・貸切鑑賞会実施。
- ・サポーター限定・会員専用ページ閲覧可能。お得情報や、展覧会開始前にいち早く「館長対談」をお届け。(「館長対談」は、展覧会開始後は当館サイトにて一般公開となります)
- ・Café1894でお食事・デザート注文時にサポーターカード提示でコーヒーまたは紅茶1杯サービス。(同伴者1名まで利用可。MSS-miniはご本人のみ)
- ・その他サポーターカード提示で提携施設での特典を受けられます。

## MSS NEWS LETTER「館長対談」

2019年度の館長対談には、森村泰昌さん、生駒芳子さん、太田治子さんにご登場いただきました。



「館長対談」森村泰昌さんと

## Café 1894

美術館内にあるミュージアムカフェ・バー「Café 1894」では、展覧会とタイアップしたメニューをご提供しています。



「印象派からその先へー世界に誇る吉野石膏コレクション展」のタイアップデザート「緑のコンポジション」。

### 期間限定メニュー

Café 1894では、展覧会タイアップメニューの他にも期間限定メニューを販売しています。

丸の内15丁目プロジェクト×RUGBY WORLD CUPコラボメニュー「丸の内ボーダーグルメフェスティバル」2019年9月20日～10月28日限定で販売した「J・レモネード」。



### アフタヌーンティー

Café 1894のアフタヌーンティーは、美術館の展示替え期間中のみ提供している、隠れた大人気メニューです。



2019年10月7日～28日限定で販売した「秋の味覚×スパイス」をテーマにしたアフタヌーンティーセット。

## Store 1894

美術館内にあるミュージアムショップ「Store 1894」では、展覧会毎に、展覧会にちなんだオリジナル・関連グッズを販売しています。



「マリانو・フォルチュニ 織りなすデザイン展」ファッションデザイナー、総合芸術家のフォルチュニが生きたヴェネツィアでデザイン、ハンドメイドされているブローチ、ポーチ。

## 歴史資料室特別展示

歴史資料室は、旧三菱一号館の40分の1の模型や映像によって、三菱一号館復元の経緯や丸の内の歴史を伝えるコーナーです。

2019年3月19日～4月14日

「アートアワードトーキョー丸の内2018」\*の三菱地所賞受賞者、松元悠さんの個展「活蟹に蓋」を開催いたしました。



※「アートアワードトーキョー丸の内」(a.a.t.m.)は、若手アーティストの発掘・育成を目的に2007年から開催され、2018年で12回目を迎えました。全国の主要な美術大学・大学院の卒業制作から選抜した作品を展示し、審査員による最終審査を実施し、グランプリや審査員賞などを決定しています。三菱地所賞として2012年より、受賞者の作品を丸の内エリアで展示する機会を設けています。

## 三菱一号館美術館が音声コンテンツでスペシャル企画を実施！

音声配信サービス「Radiotalk（ラジオトーク）」を利用して、美術館では初となる公式の音声コンテンツ新感覚美術鑑賞「あやちよと巡る。画家が見たことも展」を制作し、館内限定配信を行いました。開館記念展「マネとモダン・パリ」（2010年開催）をご覧になって美術に開眼されたというアイドルの和田彩花さんをお迎えし、和田さんと一緒に鑑賞しているような感覚をお楽しみいただける内容です。当館にご来館したことがない方に対して、来館のきっかけをつくる企画となりました。

画面イメージ\_Radiotalk\_image



和田さん収録の様子

## 交通広告グランプリ・駅デジタルメディア部門最優秀部門賞を受賞

三菱一号館美術館で昨年開催した「フィリップス・コレクション展」の交通広告が「交通広告グランプリ2019」の駅デジタルメディア部門の最優秀部門賞を受賞しました。「交通広告グランプリ」はジェイアール東日本企画が主催し、東日本旅客鉄道、JR東日本メディアが協賛、日本鉄道広告協会が後援するアワードで、2018年4月から2019年3月までに、JR東日本の駅および車両に掲出された全ての交通広告作品が応募対象となります。三菱一号館美術館「フィリップス・コレクション展」のポスターに動きをつけたデジタル画面用の駅広告が1730点の中から選ばれ、当該部門の最優秀賞を頂戴する運びとなりました。2019年7月22日都内で贈賞式が執り行われ、三菱地所株式会社 美術館室 室長の河野安紀が代表して、株式会社ジェイアール東日本企画 代表取締役社長 原口宰様より賞状と東京駅舎をモチーフにしたトロフィを受け取りました。



## 歴史資料室で「ARTSCRUM」作品を展示

2018年10月18日

ART SCRUMとは三菱地所と公益財団法人彫刻の森美術文化財団が、「ラグビーは、アートだ。」をテーマに、ラグビー経験がある美術家、音楽家、建築家、デザイナー15名とともにラグビーボール等をモチーフにした作品を制作し、丸の内エリアをはじめ全国各地に巡回した企画です。歴史資料室では、舟越桂さん、三沢厚彦さん、杉戸洋さんの作品を展示しました。



ART SCRUMとは三菱地所株式会社と公益財団法人彫刻の森美術文化財団が、「ラグビーは、アートだ。」をテーマに、ラグビー経験がある美術家、音楽家、建築家、デザイナー15名とともにラグビーボール等をモチーフにした作品を制作し、丸の内エリアをはじめ全国各地に巡回した企画です。

**ART SCRUM 巡回スケジュール**

6.12(木)~7.15(金・月)	横浜ランドマークタワー 横浜美術館 丸の内・丸の内線
7.18(木)~7.28(日)	横浜ランドマークタワー 横浜美術館 丸の内・丸の内線
8.3(土)~8.12(祭・休・月)	クアンプロント大塚 大塚駅前 丸の内線
8.15(木)~8.25(日)	大分県立美術館 大分駅前 大分線
9.7(土)~9.16(祭・月)	箱根彫刻の森美術館 箱根駅 東海道線

**丸の内・丸の内線**

6.12-11.2  
丸の内・丸の内線 / 大塚 / 大分 / 箱根

「ART SCRUM」は、三菱地所株式会社と公益財団法人彫刻の森美術文化財団が、「ラグビーは、アートだ。」をテーマに、ラグビー経験がある美術家、音楽家、建築家、デザイナー15名とともにラグビーボール等をモチーフにした作品を制作し、丸の内エリアをはじめ全国各地に巡回した企画です。

ART SCRUM 巡回スケジュール

6.12(木)~7.15(金・月)  
横浜ランドマークタワー  
横浜美術館 丸の内・丸の内線

7.18(木)~7.28(日)  
横浜ランドマークタワー  
横浜美術館 丸の内・丸の内線

8.3(土)~8.12(祭・休・月)  
クアンプロント大塚  
大塚駅前 丸の内線

8.15(木)~8.25(日)  
大分県立美術館  
大分駅前 大分線

9.7(土)~9.16(祭・月)  
箱根彫刻の森美術館  
箱根駅 東海道線

丸の内・丸の内線

6.12-11.2  
丸の内・丸の内線 / 大塚 / 大分 / 箱根

ART SCRUM 巡回スケジュール

6.12(木)~7.15(金・月)  
横浜ランドマークタワー  
横浜美術館 丸の内・丸の内線

7.18(木)~7.28(日)  
横浜ランドマークタワー  
横浜美術館 丸の内・丸の内線

8.3(土)~8.12(祭・休・月)  
クアンプロント大塚  
大塚駅前 丸の内線

8.15(木)~8.25(日)  
大分県立美術館  
大分駅前 大分線

9.7(土)~9.16(祭・月)  
箱根彫刻の森美術館  
箱根駅 東海道線

丸の内・丸の内線

6.12-11.2  
丸の内・丸の内線 / 大塚 / 大分 / 箱根

ART SCRUM 巡回スケジュール

6.12(木)~7.15(金・月)  
横浜ランドマークタワー  
横浜美術館 丸の内・丸の内線

7.18(木)~7.28(日)  
横浜ランドマークタワー  
横浜美術館 丸の内・丸の内線

8.3(土)~8.12(祭・休・月)  
クアンプロント大塚  
大塚駅前 丸の内線

8.15(木)~8.25(日)  
大分県立美術館  
大分駅前 大分線

9.7(土)~9.16(祭・月)  
箱根彫刻の森美術館  
箱根駅 東海道線

丸の内・丸の内線

6.12-11.2  
丸の内・丸の内線 / 大塚 / 大分 / 箱根



## 東京駅周辺美術館連携

東京駅周辺の私立4美術館（出光美術館、三井記念美術館、三菱一号館美術館、東京ステーションギャラリー）は近隣エリアでの相互連携の一環として、共通券の販売や、「東京駅周辺美術館MAP」の発行等を行いました。また、2019年6月20日には、5館による共通WEBサイト「5 museums.tokyo」を立ち上げました。



5 museums.tokyo

## 「EDO TOKYO NIPPON アートフェス2019」

4回目となる共同イベント「EDO TOKYO NIPPON アートフェス2019」を9月21日～23日に開催。2020年1月にオープン控えたアーティゾン美術館を含め、5館の学芸員による共同講演会・学芸員あるある第2弾「のぞいてみよう！展覧会ができるまで」は、昨年度に続きご好評をいただきました。また、5館の共通WEBサイト「5 museums.tokyo」の開設を記念した「オトクなWEB割」やワークショップを行いました。



## 共同講演会・学芸員のあるある第2弾

「のぞいてみよう！展覧会ができるまで」

日時：2019年9月21日 14:00～  
 会場：日本工業倶楽部  
 登壇者：阿佐美淑子（三菱一号館美術館）  
 小林祐子（三井記念美術館）  
 田中晴子（東京ステーションギャラリー）  
 金子馨（出光美術館）  
 島本英明（アーティゾン美術館美術館）

登壇順、敬称略

司会：野口玲一（三菱一号館美術館）



## 特別開催・休日の「館（やかた）ツアー」

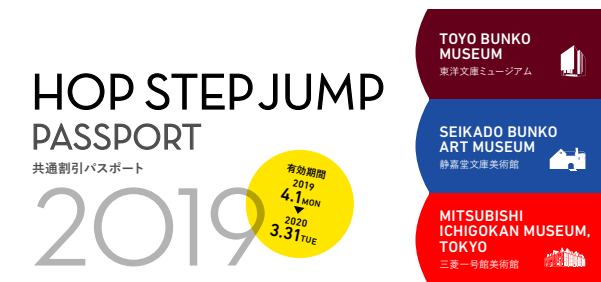
※詳細は21頁参照

## 三菱創業者一族・岩崎家ならびに三菱ゆかりの文化施設

三菱一号館美術館（東京・丸の内）と、岩崎家ゆかりの東洋文庫ミュージアム（東京・本駒込）・静嘉堂文庫美術館（東京・世田谷区岡本）の3館は、2014年2月より、それぞれの持つ文化的資源の有効活用を図るとともに、芸術文化において広く社会に貢献することを目的として、連携した運営を行っています。

## 「HOP STEP JUMP パスポート」

2019年4月1日には、2019年度有効の、3館が開催する企画展の中から好きな展覧会を1つずつ選んでご入場いただける共通券「HOP STEP JUMP パスポート」（有効期間1年間）を販売開始しました。



HOP STEP JUMP パスポート

## 2019年度企業会員一覧

株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社三越伊勢丹	三菱商事株式会社	三菱UFJニコス株式会社
三菱電機株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 キリンホールディングス株式会社	明治安田生命保険相互会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 三菱地所リアルエステートサービス株式会社	三菱重工業株式会社 三菱UFJリース株式会社
AGC株式会社 株式会社協栄 東京センチュリー株式会社 高砂熱学工業株式会社 株式会社オカムラ コクヨ株式会社	JXTGホールディングス株式会社 株式会社丸の内よろず SMBC日興証券株式会社 株式会社西原衛生工業所 フィリップモリスジャパン合同会社 株式会社関電工	東京海上日動火災保険株式会社 東銀リース株式会社 株式会社竹中工務店 三菱食品株式会社 株式会社野村総合研究所
三菱ケミカル株式会社 三菱倉庫株式会社 大成建設株式会社 前田建設工業株式会社 斎久工業株式会社 ALSOK東京株式会社 グローブシップ株式会社 株式会社日立ビルシステム 日本土地建物株式会社	日本郵船株式会社 みずほリース株式会社 清水建設株式会社 株式会社きんでん 新菱冷熱工業株式会社 ダイキン工業株式会社 株式会社九電工 株式会社ユアテック 第一生命保険株式会社	三菱マテリアル株式会社 鹿島建設株式会社 株式会社大林組 株式会社弘電社 三菱電機ビルテクノサービス株式会社 第一工業株式会社 郵船ロジスティクス株式会社 戸田建設株式会社 みずほ証券株式会社
有限責任監査法人トーマツ 株式会社フジクラ・ダイヤケーブル 株式会社ピーエス三菱 三菱製鋼株式会社 東テク株式会社 三菱自動車工業株式会社 株式会社大気社 YKK AP株式会社 ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社 株式会社鉄鋼ビルディング 株式会社神戸製鋼所 株式会社ニコン 三菱ガス化学株式会社 株式会社文藝春秋 株式会社共立フーズサービス 三菱ふそうトラック・バス株式会社 東京商事株式会社 岩崎通信機株式会社 有限会社東京共同会計事務所 株式会社ビジネスコンサルタント プロファウンドBMSアセットマネジメント株式会社 BMS株式会社 東京建物株式会社 東洋ビルメンテナンス株式会社 株式会社大同 ヨシモトボール株式会社 アズビル株式会社 小田急電鉄株式会社 オークラヤ不動産株式会社 東宝土地株式会社 株式会社ブルックスブラザーズジャパン	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 三菱アルミニウム株式会社 三菱化工機株式会社 小岩井農牧株式会社 株式会社城口研究所 京和商事株式会社 株式会社グッドフェローズ 三井住友建設株式会社 永和不動産株式会社 株式会社シー・アイ・シー 双日株式会社 株式会社NTTドコモ ホーチキ株式会社 株式会社内田洋行 国際興業株式会社 ダイヤモンドファミリークラブ 株式会社パレスホテル 株式会社フジタ 株式会社モリモト 塚本総業株式会社 株式会社IHI ビジネスサポート 株式会社丹青社 株式会社鉄道会館 TOTO株式会社 古河機械金属株式会社 株式会社メタルワン 有限会社サカキラボ エム・ユー・フロンティア債権回収株式会社 国際自動車株式会社 ベイン・アンド・カンパニー・ジャパン・インコーポレイテッド ソニービジネスソリューション株式会社	株式会社パソナグループ 株式会社三菱総合研究所 株式会社三菱ケミカルホールディングス 株式会社アルファパーチェス 東光電気工事株式会社 能美防災株式会社 PwC あらた有限責任監査法人 信越化学工業株式会社 木内建設株式会社 東京ガス株式会社 富国生命保険相互会社 日本文教出版株式会社 東洋プロパティ株式会社 NTT都市開発株式会社 三菱製紙株式会社 IHI 運搬機械株式会社 ダイヤオフィスシステム株式会社 三菱UFJ個人財務アドバイザーズ株式会社 大和不動産鑑定株式会社 株式会社JTB 株式会社丹青ディスプレイ 株式会社トラストネクサス 東京地下鉄株式会社 三信株式会社 フェニックス・キャピタル株式会社 東急リパブル株式会社 司法書士法人丸の内レジストリー 東リ株式会社 株式会社ランドネット 株式会社ローソン

(2020年2月13日現在)

2019年度 三菱一号館美術館 年報  
第10号

2020年8月 発行

発行：三菱一号館美術館

〒100-0005  
東京都千代田区丸の内 2-6-2

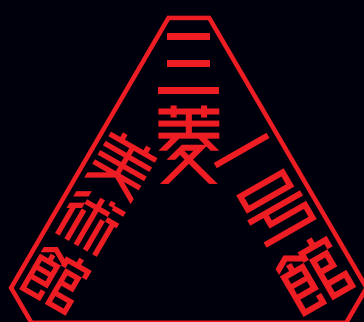
編集：三菱一号館美術館 / CURIO EDITORS STUDIO (柴田 卓)  
印刷：公和印刷株式会社

ANNUAL REPORT OF MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO  
APRIL 2019 - MARCH 2020  
No.10

Published by Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo  
2-6-2, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0005, JAPAN

Edited by Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, and Curio Editors Studio  
Printed by Kowa Printing Co., Ltd.

© Mitsubishi Ichigokan Museum, Tokyo, 2020  
ISSN 2186-6325



MITSUBISHI  
ICHIGOKAN  
MUSEUM,  
TOKYO